

Course Code	5121010	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	環境法				
Faculties	伊藤 一頼／大塚 直／桑原 勇進				
Course Objectives/Overview	<p>わが国では幾多の公害事件訴訟を通して不法行為や差止め等をめぐる民事法理論に大きな進展が見られたところであり、まずはその流れを把握するとともに最新の問題状況を正確に理解することが第一の課題である。しかし、損害賠償や差止めといった民事法の伝統的なテーマに思考を局限することなく、環境救済法という枠組みの下に、経済学理論に基づく近時の救済手法や環境哲学に立脚する新たな救済原理などをも視野に収めた幅広い考察を求めていく。さらに環境法の国際的側面についても理解を深めてもらうことを目指す。</p>				

Course Code	5121020	Term	A1A2	Credits	4
Course Title	Competition Law and Policy				
Faculties	VANDE WALLE, Simon A.W.				
Course Objectives/Overview	<p>Every day, hundreds of companies compete with each other to sell us something. Can companies do anything to win against their competitors? The answer is no! This is where competition law comes in. It sets the boundaries of what companies are allowed to do in the marketplace. It is like the referee in a boxing match.</p> <p>This course will help students understand the fundamentals of competition law: the key concepts and rules, as well as the challenges which competition law is facing. We will do this by looking at competition law in three jurisdictions: the EU, Japan and the United States. Each of these jurisdictions has its own approach to competition law but there is a common core of fundamental principles.</p> <p>The class is taught in English but students are free to ask questions or give comments in Japanese.</p> <p>毎日、何百もの企業が、私たちに何かを売るために競い合っている。しかし、この戦いにもいくつかの制限がある。そこに、競争法（経済法）が登場する。競争法は、企業が何をすることが許されるのか、その境界線を設定する。試合におけるレフェリーのようなものである。</p> <p>本講義は、競争法の基礎、すなわち主要な概念、ルールとその背景にある理論を理解することを目的とする。</p> <p>本講義では、三地域（EU、日本、米国）における競争法を比較・検討する。それぞれ独自の特徴がある一方、基本となる原則には共通点もある。</p> <p>授業は英語で行われるが、学生の質問及びコメントは日本語であっても歓迎する。</p>				

Course Code	5121022	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Big Tech and competition law: how has competition law dealt with GAFA?				

Faculties	VANDE WALLE, Simon A.W.				
Course Objectives/Overview	<p>Tech giants such as Google, Amazon, Facebook, Apple and Microsoft play an important role in the digital economy and in our daily lives. But the rapid growth and market power of these companies has also raised concerns. Have these companies become digital monopolies that threaten competition? Have they abused their market power to exclude smaller competitors?</p> <p>This seminar will look at how competition law - known in Japan as antimonopoly law 独占禁止法 - has dealt with these questions. The core of the seminar will be an analysis and discussion of the main cases against the world's most powerful tech companies. What was at issue in these cases? What has been the impact of these cases? The focus will be on cases brought in the EU, the United States and Japan.</p>				

Course Code	5121040	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	経済刑法				
Faculties	樋口 亮介				
Course Objectives/Overview	経済活動に関わる刑事法について学ぶ				

Course Code	5121050	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	公共哲学と法				
Faculties	瀧川 裕英				
Course Objectives/Overview	<p>この授業では、法哲学の基本書をテキストとして、現在法哲学の基本問題を検討していく。法哲学の分野は、法とは何かを扱う法概念論と、法とは何であるべきかを扱う正義論に区分されることがあるが、この授業の対象は法概念論であり、正義論は扱わない。</p> <p>この授業のテキストは2つある。1つは、A.マーモアの『法の哲学 Philosophy of Law』である。本書は、ケルゼン、ハート、ラズ、ドゥオーキンらの現代的な法理論を検討対象として、マーモアが独自の視点から読み解いていく。もう一つは、J.ディクソンの『法の解明 Elucidating Law』である。本書は、そもそも法を哲学するとはいかなることであるかについて、方法論的な観点から検討が行われる。</p> <p>これらの2冊はいずれも、法哲学の基本書として評価されている。この授業では、この2冊をテキストとして精読することで、現代法哲学が何をどのように論じているのかを確認し、検討していく。</p> <p>2冊とも、開講時期までには日本語訳が出版されているはずである。英語原典であれば、OPAC から無料でアクセスすることができる。特に、法哲学研究者を目指す受講生は、英語原典で読むことが望ましい。</p>				

Course Code	5121080	Term	A1A2	Credits	2
-------------	---------	------	------	---------	---

Course Title	労働法政策
Faculties	濱口 桂一郎
Course Objectives/Overview	伝統的な公労使三者構成の審議会において労使団体と政府(厚生労働省)の間で行われる対立と妥協のメカニズムとともに、近年顕著な官邸主導による立法も含め、具体的な労働立法の政策決定過程を跡づける形で、労働法制の内容を説明する。いわば、完成品としての労働法ではなく、製造過程に着目した労働法の講義である。

Course Code	5121090	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	社会保障政策（政策の理論と展開）				
Faculties	鈴木 俊彦				
Course Objectives/Overview	<p>1. 状況認識・課題認識 社会経済、国民生活の中で、社会保障は、現在及び将来にわたり非常に大きな比重を占め、現代行政における社会保障行政の重要性はますます増大している。一方、人口減少・少子高齢化、社会経済の構造変化など、社会保障を取り巻く環境・状況は大きく変貌しつつある。その中で社会保障に関して、どのような政策を展開し、どのような保障の形を選択していくかは、「国のかたち」にも関わる重要な問題である。</p> <p>2. 狙いと目標 こうした状況認識・課題認識に立ち、長年にわたり社会保障政策の責任者として立案・実施に当たってきた経験を踏まえ、我が国の社会保障の現状と課題、社会保障に関する今後の改革の方向性等について解説し、社会保障政策の在り方を考える上での基本的枠組みと視点を提供する。講義の中では、現役の事務次官、局長クラスの政策責任者など関係者との対話を通じて、政策の構築と展開のダイナミズムを共有するとともに、政策を取り巻く最新の状況を把握し、理解と考察を深める。</p> <p>3. 具体的な構成 ① 総論として、人口構造の変化、社会経済の変化、国民生活の変化、国際比較等を明らかにしつつ、社会保障政策がどのように構築されてきたか、我が国の社会保障の現状と課題等を概観する。 ② 各論として、医療、介護、年金、人口減少対策等を中心に、社会保障の主要分野の現状と課題、今後の政策の方向性等について、政策責任者等の説明を聞くとともに、意見交換を行う。 ③ 以上を踏まえ、社会保障政策の今後の方向性に関する論点について掘り下げて分析し、総括として今後の社会保障と我が国社会の在り方について考察する。</p>				

Course Code	5121105	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	国際法の現代的課題				

Faculties	伊藤 一頼
Course Objectives/Overview	学部における国際法の講義で修得した基礎知識を前提として、さらに深く国際法の理論的問題に取り組むための重要文献を講読し、研究を深めるための素材とする。特に、伝統的な国際法理論に対して新たな課題を投げかけるような事例や議論を取り上げ、今後の国際法の発展を見通すような視点を身につけることが目標である。

Course Code	5121110	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	国際租税法				
Faculties	神山 弘行／平川 雄士				
Course Objectives/Overview	租税法の国際的側面を学びます。企業活動がグローバル化する中で、国際取引を行ったときに課税がどうなるかを検討できると、法律家として仕事をする上で大きな強みになります。そこでこの授業では、所得課税を中心にして、国際的な課税問題についてまとめた見通しを得ることを目標にします。制度の理論的基礎を講ずるのみならず、具体的な取引事例を素材とすることにより、問題発見やプランニングのための力を養います。				

Course Code	5121115	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Transnational Law				
Faculties	TIOJANCO BRYAN DENNIS				
Course Objectives/Overview					

Course Code	5121121	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	International Environmental Law				
Faculties	TAKAMURA Yukari				
Course Objectives/Overview	International environmental law (IEL), an evolving branch of international law aimed at protecting the environment, has provided a legal framework for addressing transboundary environmental challenges. The objectives of the course is to deepen understanding of historical developments, basic concepts and principles, feature of IEL in a comprehensive manner, and to examine various contemporary and cross-cutting issues, such as climate change, trade and the environment, and human rights and the environment, with view to exploring a possible solution in a practical and creative manner.				

Course Code	5121150	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	ヨーロッパ法				

Faculties	伊藤 洋一
Course Objectives/Overview	<p>東西冷戦の終結とともに、ヨーロッパ連合(EU)は、安全保障をも視野にいたった広い権限を持つ地域的国際組織として、国際経済のみならず国際政治においても大きな意義を持つ存在となっている。</p> <p>また、ヨーロッパ統合の進展とともに、EU法の重要性は増加の一途をたどっており、特に、EU法の基礎的知識は、EU加盟国の国内法理解に際しても今や不可欠となっている。ヨーロッパ法が、いかにして国内法においても重要性を獲得するようになってきたのかは、国際レベルにおける法の支配の確立事例としても極めて興味深い問題である。</p> <p>近年のユーロ危機、移民危機、ポーランド・ハンガリーの権威主義体制化問題、イギリスのEU脱退(Brexit)後の通商関係、新型コロナ危機、ロシアのウクライナ侵攻、イスラエル・パレスチナ間戦争への対応問題等、欧州統合の「複合危機」を扱うEU関連報道は少なくない。残念ながら、日本のマスコミ関係者でも、現実のEUにおける制度設計、法形成がどのようになされ、またどのように運用されているかにつき、正確な理解を持つ者は多くない。一方で、Brexitキャンペーンの際に、「ブリュッセル」が諸悪の根源であって、EUから脱退しさえすれば、全ての問題が解決するという、単純明快なポピュリストの主張が、しばしば報道されたものの、Brexit以後、「行き過ぎた欧州統合」を非難するだけで、「グローバル化」による相互依存関係が進んだ現在の世界における全ての問題が解消するどころか、イギリス国内政治の混迷ぶりが白日の下に曝されたことも記憶に新しいであろう。他方で、移民排斥を主張する極右ポピュリスト政党が、最近西欧諸国でも急速に台頭しつつあり、2024年6月の欧州議会では、反欧州統合を主張する極右ポピュリスト政党の躍進が予想されている。</p> <p>EUが常に「非民主的」だと非難され、「ブリュッセル」だけが諸悪の根源だとする非難は本当に正しいのか、正しいとした場合、誰もが「民主的」だと認めるような制度は、どのようにすれば形成できるのか。それほどまでに「非民主的」な組織であるにも拘らず、なぜ加盟国は、イギリスの後を追って次々に脱退し、あるいはEUを直ちに廃止しようとならないのか、といった疑問が次々に浮ぶであろう。</p> <p>EUの制度・運用の研究は、単にヨーロッパのみの問題に止まらず、グローバル化の進展過程において、古典的な主権国家の枠を超える「民主的」な国際組織をどのように設計すべきかという大きな問題として、重要な意義を持っている。</p> <p>EC/EU法は、従来の古典的国際法とどのように異なるのか、加盟国の国内法との間にどのような影響関係があるのか、「民主的」な国際組織の設計はどのようなものであるべきかといった問題は、学問的にも重要な理論的問題である。</p> <p>本講では、上述のような近時の問題状況をも念頭に置きつつ、現行法たるリスボン条約を中心に講義を行う予定である。EU法の対象分野は、共同体管轄事項が拡張されてきた結果、今や多岐にわたっているが、EU組織法の理解は、個別のEU実体法理解のため不可欠の</p>

	前提となる。本講では、EU法の総論部分にあたる組織法、具体的には、EUの機構、法源、争訟制度等について順次講じる予定である。
--	--

Course Code	5121191	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	国際法判例研究				
Faculties	中島 啓				
Course Objectives/Overview	国際法に関する最近の判例の読解を通じて、個々の判例が扱う国際法上の主題についての素養を深めるのみならず、国際判例の読み方の習得を目指す。				

Course Code	5121201	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	ヨーロッパ統合と法1				
Faculties	伊藤 洋一				
Course Objectives/Overview	<p>ヨーロッパ統合の大きな特色は、「法による統合」であることである。特に、広義のヨーロッパ法(EU法およびヨーロッパ人権法)の国内法に対する優越の結果、加盟国においては、国内法の「ヨーロッパ化」が近年顕著な現象となっており、ヨーロッパ法の影響を無視して加盟国の国内法のみを研究することは、もはや困難となってきた。しかし、EU裁判所と加盟国の国内最上級審との関係は、当初から良好な関係であったわけではなく、例えば、フランス国務院(Conseil d'État)は、1989年のNicolo判決まで、久しく国内後法に対する条約法の優越を認めていなかった。</p> <p>本演習では、そのような動向の具体的事例として、近時ヨーロッパで大きな問題となっている「法の支配」、特に司法権の独立に対する執行権からの攻撃に関わる、EU法およびヨーロッパ人権条約法の展開を分析した、EU裁判所のLenaerts長官の仏語論文を講読する予定である。同論文は、国内法と二つのヨーロッパ法が交錯する新たなヨーロッパ法の形成を分析するもので、近年のヨーロッパ諸国における広義のヨーロッパ人権法の影響増大と、その課題を考察する手掛かりとなるであろう。</p>				

Course Code	5121227	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	国家と法の基本問題				
Faculties	石川 健治				
Course Objectives/Overview	講義では十分に論ずることのできない基礎的ないし原理的な論点を、掘り下げて考察することを目標とする。その際、演習が散漫なものになるのを防ぐための工夫として、参加者には、「書評」という文章ジャンルに挑戦されるよう、強く希望したい。				

Course Code	5121271	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	金融商品取引法				
Faculties	大崎 貞和				
Course Objectives/Overview	我が国の資本市場法制の中核的な法律である金融商品取引法について、基本的な理論と実務を理解するための入門的な講義とする。このため、まず、金融商品取引法の全体像を理解した上で、実務上、問題となることの多い主要な論点を中心に、金融商品取引法の制定・改正の背景・理由となった取引上・実務上の課題は何か、法令立案過程でどのような議論があったか、議論の結果制定された法令が実務上どのように運用されているかを的確に理解することにより、実務家として金融商品取引法を使いこなすため基礎的で、かつ、立体的な理解を得ることを目的とする。				

Course Code	5121290	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	医事法				
Faculties	米村 滋人				
Course Objectives/Overview	医事法は、医療に関するさまざまな法律問題に加え、胚、死体、ヒト由来組織・臓器の法的地位、医薬品・医療機器の規制、さらには種々の医学・生命科学研究の法規制の問題など、きわめて広い範囲にわたる問題を扱う法領域である。これらの問題の検討には、民刑事法・行政法などの一般的知識を前提に、医療実務、法律実務、さらに医療政策や生命倫理なども考慮した複合的な問題解決能力が必要となる。本講義では、一般的な医事法の解釈問題につき解説を行うのみならず、医療・医学研究の実態や近時の動向を盛り込みつつ、現実に発生している法的問題を扱うことで、民刑事法・行政法を応用しつつ医療を中心とする実務的問題の解決を導く能力を涵養するとともに、医療のあり方や法の役割についての理解を深めることを目的とする。				

Course Code	5121291	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	医事法発展演習				
Faculties	米村 滋人				
Course Objectives/Overview	医事法は、医療や医学研究に関する法律問題を扱う法分野である。従来から存在した医療過誤・薬害等の類型に加え、近時では特殊医療や医学研究に対しても法規制が強化されており、この分野に関する法律問題は急速に拡大しつつある。ところが、これらの問題は法学部・法科大学院の講義で扱われないことが多く、また医学や医療政策等の総合的な知識が必要であるため、独学での学習は相当に困				

	<p>難である。本科目は、医療・医学研究の分野で発生している法律問題に関して、医学・法学・公共政策学等の専門家をゲスト講師に招くなどして背景的知識を補いつつ、問題の多角的な検討を行い、当該分野の法制度のあり方などにつき発展的な考察を行うことを通じて、医学・法学の両者にまたがる専門的問題解決の能力を培うことを目的とする。</p>
--	--

Course Code	5121300	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	金融法				
Faculties	松井 智予／加藤 貴仁				
Course Objectives/Overview	この講義では、金融実務に詳しい実務家をゲストとして招いて実務の現状や実際に生起している問題点などを具体的に話してもらい、それに基づいて理論的な分析や展望などを試みる。				

Course Code	5121380	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	法医学				
Faculties	岩瀬 博太郎				
Course Objectives/Overview	法医学とは法が適正に執行されるべく医学的な助言を行うための学問である。すなわち、国民の安全や権利を守るための医学といえる。法医学は死因究明のほか、虐待を受けた小児等の保護も業務として実施しているが、本講義ではそうした法医学の目的や業務を理解することを目的としている。				

Course Code	5121393	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	法のパースペクティブ：刑事司法と「アウトサイダー」				
Faculties	VANOVERBEKE Dimitri				
Course Objectives/Overview	<p>In this interactive course we will introduce a socio-legal approach to Japan's criminal justice system and discuss its changing socio-political context by paying attention (using methods from the field of sociology of law) to a diverse group of "outsiders" (= professionals other than lawyers, prosecutors or judges or citizens) in Japan's criminal justice system who work alongside judges, prosecutors and lawyers with suspects, defendants and/or (ex-)convicts (= 加害者の視点). Particular attention will be given to recent challenges faced by forensic psychiatrists, social workers, forensic scientists and lay judges in novel approaches such as "therapeutic justice" (治療的司法) or "holistic justice" (包括的司法), which aim to change the traditional way of approaching the criminal justice system. We will also look at issues related to the path to these changes (= the issue related to the reform of the justice system and its institution) - history matters and focuses on its content before turning to how these non-professionals of law operate in reality.</p> <p>In this course we will depart from the articles in a recent special issue (特集) of the</p>				

	<p>journal 法律時報（2024年3月号） in combination with Erik Herber's award-winning book 'Law and Expert Contributions to Japanese Criminal Justice' (Routledge, 2019). Readings in English and Japanese will provide a springboard for discussion, and guest speakers (in Japanese and English) will also help answer the key questions: What are the weaknesses and strengths of the Japanese criminal justice system? What are the remedies for the weaknesses? What is the purpose of criminal law and procedure, and how can we understand the gap between theory and practice? Many of the insights offered in this course will be based on disciplines other than black letter law, such as sociology, history and comparative politics. The main aims of the course are, firstly, to broaden the student's view of the changing role of law in society, secondly, to become familiar with the methodologies of socio-legal studies and, thirdly, to express and understand opinions and insights in English in a critical and constructive manner.</p>
--	--

Course Code	5121394	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Perspectives on Law : Japanese Law as Viewed from Abroad				
Faculties	Daniel Foote				
Course Objectives/Overview	<p>For over a century, Western scholars have pursued scholarship on Japanese law. Foreign scholars have produced many excellent works exploring various fields of Japanese law, frequently approaching subjects from perspectives other than those commonly found within Japan. In this course, we will read and discuss leading works on Japanese law written by foreign scholars. The readings will include works from various perspectives, including sociological, historical, economic, and practice-related perspectives. For a few class sessions, depending on availability, foreign scholars will be invited as guest speakers.</p> <p>NOTE: This class will be conducted entirely in English. Heavy emphasis will be placed on class discussion.</p>				

Course Code	5121424	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	アメリカ非営利法人法				
Faculties	溜箭 将之				
Course Objectives/Overview	<p>アメリカは、世界でも非営利セクターが発展した国で、多数の非営利団体が国内外で社会的にも政治的にも重要な役割を果たしている。大規模な非営利団体が存在し、また小規模な団体も活躍し、それらを支える法制度や支援の仕組みも発達している。本授業では、アメリカにおける非営利法人に関わる法制度を、その社会的背景も含めて検討する。日本の非営利セクターの規模は、アメリカなど諸外国と比べて小さいが、日米比較も織り交ぜつつ、今後の市民社会のあり方も含めて考える。</p>				

Course Code	5121433	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	証券市場法演習				

Faculties	大崎 貞和／朱 大明
Course Objectives/Overview	金融商品取引法に関する基本的な諸問題について、中国やアメリカなど海外の法制との比較を踏まえつつ、法の考え方を学ぶとともに、実務的な論点について検討する。

Course Code	5121436	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	国際商事仲裁				
Faculties	増見 淳子				
Course Objectives/Overview	<p>企業活動のグローバル化に伴い国際商取引紛争は増大し、国際商取引に関する紛争解決方法として、国際商事仲裁が定着してきている。日本企業が当事者となる国際商事仲裁事件数も増えてきていることから、本講義においては、仲裁制度の基礎知識を習得したうえで、国際商事仲裁に関する理論的な枠組みを理解し、国際商事仲裁の各論点につき、実務的な観点から、理解を深める。仲裁実務については国際商事仲裁に精通した外国人実務家が英語により行う。</p> <p>With the globalization of corporate business activities, the number of commercial disputes have been growing, and international commercial arbitration has become the most preferred choice for dispute resolution among companies conducting business worldwide. As the number of cases involving Japanese companies are increasing, this class will enable students to acquire basic knowledge of the arbitration system, understand the theoretical framework of international commercial arbitration, and understand the basics of international commercial arbitration from a practical perspective. Lectures on arbitration practices will be conducted in English by foreign practitioner who is familiar with international commercial arbitration.</p>				

Course Code	5121454	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	国際ビジネス法				
Faculties	増見 淳子／石塚 信久／石川 知子／MROCZEK Michael				
Course Objectives/Overview	<p>企業がグローバルにビジネス展開を行うにあたっては、様々な分野にまたがる国際的なビジネス法の基本的な知識を有するとともに、変化する環境の中でそれらの知識を駆使してリスクを低減し、自社に有利なビジネスを展開できる、言語を含めた国際ビジネスの素養を有する人材が求められる。本授業はこのような人材育成を念頭に、外国人ゲストスピーカーも含めた複数の実務経験者が教員となり、ビジネスのさまざまな局面における法的問題を概観する。</p> <p>Nowadays, companies developing their businesses globally need business and legal experts who have basic knowledge of various areas of cross-border business law, good business sense for utilizing such knowledge to reduce the risk and to conduct business in its favor in the changing environment with familiarity to foreign languages. This course will seek to develop student awareness and knowledge of the foregoing human resource by examining legal issues that arise in various business situations. Lectures will be conducted by instructors, including foreign</p>				

	guest lecturers, who have practical experience in this field.
--	---

Course Code	5121458	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Law and the Formation of Transnational East Asia				
Faculties	松原 健太郎／TIOJANCO Bryan				
Course Objectives/Overview	<p>This course explores the visions and historical processes that shaped the political, economic, and legal principles, policies, and practices of a transnational order in East Asia from the mid-nineteenth century to the mid-twentieth. Its focus will be on the trans-Pacific interactions between the United States, Japan, the Philippines, and China, but always with the rest of East Asia in mind. The discussions will delve into the interplay of law, politics, and economics during the period covered. Through these discussions, this class will explore new ways of understanding the historical developments whereby a coherent transnational order was formed in East Asia. The aim will be to overcome the limitations of the two prevalent narratives regarding East Asian history. The first, known as the "Western Impact" model, looks at modern East Asian history in the context of how each society reacted to Western powers attempting to dominate the area through trade and colonization. The second approach has traditionally been presented as an antithesis to the first, focusing on the internal logic of East Asian societies, and modernization in these societies is explained by referring primarily to domestic political dynamics, avoiding overemphasis on influence from the West. By grounding our analyses on the development of a transnational order among East Asian societies on one hand, but focusing on trans-Pacific interactions on the other, our objective will be to re-assess not just the history of East Asian societies, but the history of the US, and its role in the shaping of a global order that remains crucially important to this day.</p>				

Course Code	5121461	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Law and Society in East Asia				
Faculties	MATSUBARA Kentaro				
Course Objectives/Overview	<p>This seminar aims to discuss the social / historical bases on which a modern legal system might operate in various East Asian societies, and to provide an introduction to some of those problems involving the integration of different legal traditions into a pluralistic yet coherent legal regime. We will focus on the tensions experienced by these societies, involving the importation of what were presented as "universal" values and norms, and the near-universal resistance to these values and norms, such resistance being based on the notions of custom and tradition. While the initial focus will be mainly on the experiences concerning the formation of legal institutions in China and Japan, students will be encouraged to bring in perspectives from other societies as well. The problems discussed will include: the difficulties regarding what exactly can be identified as East Asian legal traditions; how legal regimes were structured through the actions of actors exploiting the plurality of legal traditions; and how the relationship between legal arrangements and the political power-structure played out. Particular attention will also be paid to the issues of colonialism, and the uneasy relationship between Modernisation, Westernisation</p>				

	and Colonisation in these societies. The ability to read source materials written in Chinese and/or Japanese would be of much help, but will not be essential.
--	--

Course Code	5121463	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	European perspectives on law and society: a comparative and historical approach				
Faculties	Dimitri Vanoverbeke				
Course Objectives/Overview	<p>In this seminar we will discuss how citizens think about the law. This question has been central to research in the field of law and society worldwide. In a 'revival' of the classic question in this field, recent publications have proposed a new approach to thinking about law and the role that law plays in contemporary society. This new approach has been proposed most notably by the Dutch socio-legal scholar Marc Hertogh in his book 'Nobody's law: Legal consciousness and legal alienation in everyday life' (Springer, 2018). He starts from the observation that there is a crisis of the rule of law in Europe because people are 'alienated' from the law. Hertogh argues that law and society scholars need to take this crisis seriously to ensure the continued proper functioning of the legal system and thus a robust democracy.</p> <p>In this seminar we will introduce the field of law and society by specifically analysing the question of legal consciousness (法意識) in relation to democracy. We will pay attention to classical research on legal consciousness in Japan, its content, methodology, social context, strengths, and weaknesses. We will then read Marc Hertogh's book and discuss whether his approach is new and relevant. What does this book mean for the study of law and society in Japan? Are law and democracy in Japan in a state of crisis like that in Europe? We will address these questions in a concrete case by researching the Hakamada case and studying it from different angles. In summary, this seminar will analyse law in society from a bottom-up perspective, i.e., from the perspective of the people and how this affects the legal system (hence we will keep the macroscopic and comparative perspective in mind). Students will be encouraged to raise questions, suggest readings, newspaper articles, films, etc. and present their insights on the Hakamada case.</p> <p>Students will also be introduced to and conduct interviews with relevant actors to achieve the main objectives of this course, namely, firstly, to broaden the student's view of the changing role of law in society, secondly, to become familiar with the methodologies of socio-legal studies, and thirdly, to express and understand opinions and insights in English in a critical and constructive manner.</p>				

Course Code	5121470	Term	A 2	Credits	2
Course Title	国際法の基本問題				
Faculties	寺谷 広司				
Course Objectives/Overview	<p>どのような法分野でもそうだが、理論教育の重要性は論をまたない。本ゼミでは、国際法の諸問題について、より理論的な文献を中心に選択し、全員で討議する。</p> <p>教材については、出版状況を踏まえて検討するため、開講時期（登録時期）が近づいてきてからアナウンスする。</p>				

Course Code	5121490	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	国際法実務演習				
Faculties	大平 真嗣／木花 和仁				
Course Objectives/Overview	<ul style="list-style-type: none"> ●各回のテーマと関連する実際の国際的な課題や事案について、担当を割り振られた学生が国際法上の論点を整理して報告し、参加者と議論を行う。担当教員は実務家の立場に立って質問やコメントを行う。特に実際に生起している外交問題、国際紛争、国際裁判等を取り上げる。 ●報告においては、事実関係について様々な公開情報（各国政府の発表等）を用いて整理し、関連する学術的な論考、国際判例、事例等を紹介しつつ国際法上の論点を指摘し、具体的な根拠を示しつつ報告者としての法的意見を提示する。 ●以上の演習を通じ、国際法を実務的観点から捉え、実際の国際的な課題や事案に対処していく上で必要な法的思考を涵養する。 				

Course Code	5121500	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	国際海洋法制度概論				
Faculties	西村 弓／許 淑娟／西本 健太郎				
Course Objectives/Overview	<p>海洋にかかわる国際法上の問題は、日本の対外関係および国際法実務において重要なものとなっている。そこで、本授業では、海洋にかかわる国際法制度の全体的な枠組について理解を深めることを目的とする。その検討のための具体例として、領海警備、大陸棚延長と境界画定、資源探査や科学調査を含めた海洋調査規制など、近年、日本との関連で実際に懸案となっている諸事象をとりあげて考察する予定である。</p> <p>担当者によるリレー講義（オンライン）の形式で進める。質疑応答を通じて、多様な参加者とのディスカッションを取り入れる。学際海洋教育プログラム科目の一つである。</p>				

Course Code	5121510	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	コーポレートガバナンス				
Faculties	林 良造／鈴木 寛／中原 裕彦／萬澤 陽子				
Course Objectives/Overview	<p>コーポレートガバナンスとは、会社が、株主をはじめ顧客・従業員・地域社会等の立場を踏まえながら、透明・公正で迅速・果敢な意思決定を行うための仕組みをいうものとされている。こうした会社のカタチは、金融市場・労働市場を含む我が国の経済社会の在り方に大きな影響を与えてきた。</p> <p>80年代までのジャパン・アズ・ナンバーワンと言われた時代には、我が国の会社のカタチこそが最も望ましいと称された。しかし、90年代に入り、バブル崩壊や不良債権処理の遅れが顕在化してから</p>				

	<p>は、その脆弱性が指摘され、会社法・金融商品取引法・会計規則・税法などの諸制度の改正が劇的に進み、株式所有形態の変化などと相まって企業経営を監督するための制度環境は格段に充実した。そして、近年では成長戦略の一環としてコーポレートガバナンス改革が進みつつあり、いわゆる日本版スチュワードシップ・コードやコーポレートガバナンス・コードの制定や累次の会社法なども行われるとともに、企業の買収を巡る動きも盛んである。また、ESGに関する議論の高まりを背景に、会社の経営者こそ社会のサステナビリティの維持に専心すべきであるといったいわゆるパーパス経営の議論も登場している。</p> <p>この分野は学際的な理論と実務が交錯する分野であるところ、この授業では、実際のコーポレートガバナンスの現場や海外のガバナンス制度との違いを視野に入れつつ、我が国のコーポレートガバナンス制度が直面している課題及び適切な制度構築に向けた論点を検討し、更なる制度設計に向けた視座を得る。</p>
--	--

Course Code	5121520	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	武力紛争と法				
Faculties	黒崎 将広				
Course Objectives/Overview	<p>武力紛争（戦争）に適用可能な国際法の基本知識を習得し、海洋国家としての特性を持つ日本の有事についてはもちろん、ロシア・ウクライナ紛争やハマス・イスラエル紛争をはじめとする世界各地の武力紛争について考えるための法的視野を涵養する（これはグローバルサプライチェーンのあり方考える上で日本のビジネスにとっても重要となろう）。なお、本科目では、教養学部・大学院総合文化研究科開講科目「武力紛争法・国際人道法」で扱わなかった国際法規則について講義を行うため、この分野の知識を体系的に学びたい学生は、「武力紛争法・国際人道法」と合わせて本科目を履修（または聴講）するのが望ましい。もちろん、どちらの科目から履修しても構わないし、本科目だけを履修するのも構わない。</p>				

Course Code	5122011	Term	S 2	Credits	2
Course Title	市民社会組織・政策論				
Faculties	田中 弥生				
Course Objectives/Overview	<p>本講義の目的は2つある。第1にNPOやNGOなど市民社会組織の理論と現状を学び、関連の制度および政策を分析することである。第2は、新たな試みで、非営利組織の評価論の基礎を集中的に学ぶことである。</p> <p>市民社会組織が、政策的課題として本格的に取り上げられるようになったのは東西冷戦終焉直後からである。だが、主たる期待は社会サービスの補填機能であった。昨今、ポピュリズムや民主主義の</p>				

	<p>危機が取りざたされる中で、大きな緊張感が生じている。こうした中で市民社会は正にも負にも作用する。そこで、ナチスなど歴史的変遷にも着目しながら、市民社会とその中軸を担う非営利組織について考察する。</p> <p>また、非営利組織への官民資金の投入量が増す中、評価によって説明責任を果たすことが求められるようになってきている。だが評価技法に振り回されがちである。そこで、本講義では基礎となる考え方や思考から評価論を学ぶ。なお、これらの知識や技術は政府評価と共有するもので、政策評価にも適用可能である。</p>
--	---

Course Code	5122035	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	政府間関係論				
Faculties	金井 利之				
Course Objectives/Overview	<p>本授業は、自治体行政学を受けて、現代日本の自治体行政を、複数の政府間の関係からなるシステムである点に着目して、実際の制度と運用に即して概観することを目的とする。しかし、行政学の一分野としての側面を重視する観点から、現代日本の行政全般に関しても注意を払う。</p> <p>区域によって管轄が仕切られる自治体にとって、空間は根源的に重要である。政府間関係も、空間の観点からは、管轄する空間の関係としても現れてくる。そこで、今年度も、自治体と空間の関係を検討したい。具体的には、基礎的文献を素材として、指定された文献を事前に読んでくることを前提に、担当学生による報告と、解説の講義と、参加者間の討論を進めることとする。</p> <p>その意味で、実質的には演習形式を想定している。</p>				

Course Code	5122070	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	地域政治 A (現代中国の政治)				
Faculties	李 昊				
Course Objectives/Overview	<p>この講義は、現代中国の政治外交を対象とする。概ね 1949 年の人民共和国建国以後を扱うが、それ以前の事柄も必要に応じて触れる。現代政治史から始め、統治構造、政治と経済、政治と社会、国際関係、国家統合など、中国の政治に関わるさまざまなトピックについて広く紹介する。可能な限り広く論点をカバーしたいが、時間は限られている。その意味で、本講義は中国政治の導入役割を果たす。受講者の皆さんは積極的に書籍や論文を読んでいただき、自由に学びを深めていただきたい。</p>				

Course Code	5122080	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	地域政治 B (現代東南アジアの政治)				

Faculties	中村 正志
Course Objectives/Overview	<p>文化的にも経済的にも多様な地域である東南アジアにおける政治を、歴史的な脈に位置づけた解釈と共時的な比較分析を併用して理解できるようにするのがこの講義の目標です。</p> <p>前半の講義では、まず、東南アジア諸国が独立するまでの歴史を概観します。そのうえで、各国が共通して抱える民族問題、宗教問題について、なぜ異なる政策的対応がとられてきたのかを検討します。後半の講義では、東南アジア各国の政治体制の相違と変遷、ならびに経済成長や所得格差と政治との関連について分析します。東南アジア各国の事情を学ぶだけでなく、必要に応じてエスニック・ポリティクス研究や政治体制論、政治経済学の知見にも触れながら、各国の違いをもたらした要因や、ある国における変化の原因について考えます。また、毎回の講義の冒頭において、東南アジアに関するその時々主要ニュースについて解説します。</p>

Course Code	5122083	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	地域政治 B(現代朝鮮半島の政治)				
Faculties	木宮 正史				
Course Objectives/Overview	<p>① 韓国（朝鮮半島）の現代史に関する理解を深める。</p> <p>② 韓国（朝鮮半島）の政治・経済・国際関係に関する分析を通して、政治学、国際政治学の理論に関する理解を深める。</p>				

Course Code	5122091	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	地域政治 C（EU の政治）				
Faculties	遠藤 乾／板橋 拓己／鈴木 一人				
Course Objectives/Overview	<p>－ヨーロッパ統合の歴史を理解する</p> <p>－欧州連合（EU）の政治に知悉する</p> <p>その制度、政策、安全保障、域外関係などを検討する</p> <p>－EU を取りまく国際関係を学ぶ</p> <p>ウクライナ戦争、米欧関係、グローバル・ガバナンス、そして日本との関連を考える</p>				

Course Code	5122092	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	地域政治 C(現代アメリカの政治)				
Faculties	梅川 健				
Course Objectives/Overview	この講義では、現代アメリカ政治を理解するための枠組みを提供する。				

Course Code	5122097	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	地域政治 C (現代アメリカ政治特殊研究)				
Faculties	梅川 健				
Course Objectives/Overview	この演習では、アメリカの選挙制度の歴史的変遷と統治構造の変化について、古典から近年の研究成果までを扱う。				

Course Code	5122110	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	自治体行政調査				
Faculties	金井 利之				
Course Objectives/Overview	自治体は住民に身近な行政として、様々な窓口業務を行っている。しかし、近年、デジタル・トランスフォーメーション (DX) などの動きもあって、オンライン行政手続が進められ、必ずしも対人窓口での対応が必須というわけではなくなりつつある。さらに言えば、もともと、郵送による手続や、自動交付機による処理や、職員の臨戸訪問によって処理してきたものもある。とはいえ、役場本庁や出先の出張所・行政センター窓口での対面業務が消えるわけでもなさそうである。そこで、自治体特に基礎的自治体に特徴的な窓口行政に焦点を当てて、来し方行く末を含めて、実態を垣間見たい。				

Course Code	5122135	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	New Dimensions of Security in the Risk Age				
Faculties	HENG Yee Kuang				
Course Objectives/Overview	COVID-19 has starkly reinforced how the world faces global risks, of which COVID is only one out of many. Why does the World Economic Forum publish its annual Global Risks Report and how does it arrive at its findings? And what are so-called "Existential Risks" that supposedly pose a risk to humanity's very survival? As governments such as the United Kingdom issue National Risk Registers to guide policy makers, this module enables students to examine the security dimensions of living in what sociologists have termed a 'World Risk Society'. It highlights the new nature of vulnerability in an era of contested and often politicised science, as well as the impact on how we conceptualise and think about security. The module shows how key stakeholders such as industry, media, governments and politicians have to play crucial roles in not only shaping responses to these perceived risks, but also how to appropriately manage them. Students will be introduced to how risks of all types have challenged policy makers in the post-Cold War era from ethnic conflicts in Kosovo, the 9/11 terror attacks, Afghanistan, Iraq and so-called Islamic State. Most recently so-called existential risks such as AI and climate change and systemic risks to critical infrastructure such as the Suez Canal have captured attention. Concepts such as Security Paradigm Shifts, Omission versus Commission; the Risk Calculus, and Precautionary Principle will be discussed. While these issues are not necessarily new in a historical sense, this module shows how they have garnered				

	<p>renewed attention through the prism of risk. Policy responses are finally examined such as capacity for building “futures literacy” and National Risk Assessment Exercises.</p> <p>The following outcomes are emphasized:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.An ability to understand and evaluate a range of new security challenges and policy responses interconnected through globalization and technology 2.The linkage between industry, media, politics, and science and its relevance to global security affairs 3.The ability to collate and evaluate arguments from different sources and theoretical perspectives 4.The ability to formulate and articulate views coherently in written and oral forms 5.Critical thinking, analytical and reading skills
--	--

Course Code	5122137	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Ethics and International Relations				
Faculties	ORSI Roberto				
Course Objectives/Overview	By the end of this course the students should have acquainted themselves with the main questions lying at the intersection of ethics and International Relations/international politics, becoming familiar with the concepts and jargons of ethical theory, just war, ethics of war and warfare, responsibility to protect, human rights and global justice.				

Course Code	5122140	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	国際政治経済の諸問題				
Faculties	飯田 敬輔				
Course Objectives/Overview	本演習は国際政治と国際経済の接点にある各種の問題について実証的に研究することを目的とする。輪読のテーマは、主要国の貿易政策の比較である。米国、日本のみならず、その他の主要国の貿易をめぐる政策決定過程を幅広く取り扱いたい。文献については開講後指示する。				

Course Code	5122159	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Transformation of Warfare and Technology				
Faculties	AOI Chiyuki				
Course Objectives/Overview	There have developed quite separate debates concerning, on the one hand, the Transformation of Warfare, and Revolution in Military Affairs on the other. Conventional knowledge is that while the former approach encompasses a vast range of scholarly analysis on how war in the contemporary era might have transformed in all spheres of economy, politics and society, the latter has focused on the impact of technological advancement in a narrower sense on warfare, especially the way in which warfare has been conducted or ought				

	to be conducted. However, to discuss changes in the character of war in these quite distinct spheres, each with specific preoccupations with no interactions, is not very conducive to a meaningful generalization about the transformation of warfare itself. The purpose of this seminar is to consider the impact of modern and contemporary technological changes, especially focusing on communication and media spheres, on the character and conduct of warfare today, hence bridging the two distinct spheres of interests.
--	---

Course Code	5122170	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	西欧比較政治論				
Faculties	中山 洋平				
Course Objectives/Overview	<p>西ヨーロッパ諸国では今世紀に入って以降、格差拡大反対や移民・難民排斥など様々な抗議運動が繰り返されてきた。他方、選挙では「ポピュリズム」と総称される左右の新勢力が伸長を続けている。こうした政党システムの流動化と吹き荒れる各種の抗議運動とは、一体どのような関係になっているのだろうか。</p> <p>今年度の演習では、両者間の複雑な相互作用を解き明かそうとする研究を概観しつつ、政党と社会運動の関係という古典的な問題に切り込むことを目指す。</p>				

Course Code	5122182	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Japan's Modernization Experience and Its ODA Policy				
Faculties	JIN etc.				
Course Objectives/Overview	<p>This course is designed to offer an overview of Japan's experience in modernization and how it has extended its assistance to other countries' modernizing efforts. As the first non-western country to modernize, Japan's experience, both positive and negative, presents an important reference point for other countries to investigate. This course is conducted in cooperation with JICA, the Japan International Cooperation Agency. Those taking part in the JICA Development Studies Program are required to take this course, while other students are most welcome to take part.</p>				

Course Code	5122201-1	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Contemporary Chinese Politics				
Faculties	LIM Jaehwan				
Course Objectives/Overview	<p>In addition to enhancing understandings of the structure and processes of contemporary Chinese politics, this course aims to familiarize students with prominent theories of authoritarian politics. Among the topics this course will examine in the Chinese context are: factionalism, elite bargains and power-sharing, corruption; political participation; contentious politics; censorship and manipulation.</p>				

Course Code	5122201-2	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Contemporary Chinese Diplomacy				
Faculties	李 昊				
Course Objectives/Overview	This course is an introduction to contemporary Chinese diplomacy. By reading some recent academic articles, students are expected to become familiar with some core topics of Chinese foreign policy. Students are required to write a 4000 words final report.				

Course Code	5122202	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	比較政治学・概論				
Faculties	Kenneth Mori McElwain				
Course Objectives/Overview	研究者を目指す大学院生に向け、比較政治学における主要なトピックを紹介する。世界の研究者はどのようなテーマに関心を持ち、理論や方法論はどう発展してきたのか。先行研究の問題点は何であり、どう解決すべきなのか。受講生は議論を通して、政治学における様々な概念についての理解を深めることができるだろう。				

Course Code	5122207	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Policy and Governance in Contemporary China				
Faculties	JIN BEI				
Course Objectives/Overview	This course will introduce critical political, economic and social issues in contemporary China, and the policy measures taken by the Chinese government. Regarded as the "most serious competitor" to the United States, China's development direction and challenges will also be discussed. By the end of this course, students are expected to be able to understand how China has achieved rapid economic growth and social transformation, the fundamental characteristics of policy and governance in China, and their impact on current issues and future challenges.				

Course Code	5122211	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	発展途上国の政治				
Faculties	馬場 香織				
Course Objectives/Overview	本講義では、発展途上国の政治に関連する比較政治の主要な概念や理論を、現代世界の歴史的展開に沿いつつ紹介する。比較政治とは、各国の国内政治について多様なアプローチから検討を行う学問分野である。政治経済社会のあらゆる側面で深くつながった今日の世界において、発展途上国で起きていることは日本に暮らす我々と無関係ではなく、途上国の国内政治について理解する必要性はいつそう増している。また、例えば近年、先進民主主義国				

	でも「民主主義の後退」が問題となっているが、そうした現象が一般に強く現れやすい途上国の経験や、そこから生まれる理論的知見は、先進国の政治を分析する際にも役立つものである。本講義では、受講者が途上国政治に関連する比較政治の代表的な概念・理論と、それらが生まれた背景について理解し、比較の視角を用いて途上国の政治現象を解釈する基礎的な力を身につけることを目標とする。
--	---

Course Code	5122215	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	先進国の比較政治				
Faculties	古賀 光生				
Course Objectives/Overview	<p>事例研究を基礎とする比較政治学の手法を用いて、政党システム論の基礎を確認しつつ、その拡張の可能性を検討します。受講生には、「理論」の構築過程を確認することで、比較政治学が持つ可能性と限界を理解して自身の研究や実践的な活動にその知見を活かすことを期待します。</p> <p>議論の前提となる諸前提に起因する理論の射程を意識しつつ、理論を自ら構築し、かつ、実際の分析に活用するための能力を高めることを目標とします。</p>				

Course Code	5122219	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Strategic Communications and International Politics				
Faculties	青井 千由紀				
Course Objectives/Overview	<p>Strategic communications occupy a particularly significant place in world politics today. This course provides the background for understanding the expanded role of communications in contemporary international security and provides a theoretical framework for analyzing/explaining the role of communications in contemporary diplomacy and statecraft. This course will further situate contemporary uses of strategic communications in the evolving character of warfare today, especially the hybridization of threats and warfare. Issues covered include: the social impact of the evolution of ICT technologies; functions of strategic communications; public affairs and public diplomacy; military psychological operations and information operations; history of disinformation, misinformation, and malinformation; uses of strategic communications by non-state actors; governmental institutions and the apparatus of strategic communications; and strategic communications in Asia and the Indo-Pacific.</p> <p>This course is offered by the Strategic Communications Education and Research Unit (SCERU), with support from the European Union (EU). It also serves as a preparatory course for the GraSPP-King's College London double-degree programme.</p>				

Course Code	5122222	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	情報社会と総合安全保障				

Faculties	鈴木 寛／高見澤 將林／山内 康英
Course Objectives/Overview	<p>この講義では情報社会の総合安全保障を日本の具体的な政策として理解することを目標とします。ここで総合安全保障とは、狭義の安全保障つまり軍事、経済安全保障、政府の危機管理体制、さらに社会を構成する政治経済思想の組み合わせを指しています。この講義では、日本の総合安全保障を、①個別のおよび集団的自衛や軍備管理・軍縮条約といった軍事と外交による安全保障の確保、②国内の社会インフラの防護や半導体のグローバルなサプライチェーンといった経済安全保障、③インターネットやAIの技術的な特徴と政策的取り組み、④政治経済体制とイデオロギーのさまざまな在り方、の4点から検討するものとします。</p> <p>(1) 本講義のテーマ全般を俯瞰する分析枠組みは以下の通りです。1990年代初頭に登場したインターネットによって、グローバルな情報革命が始まりました。本講義では、情報社会学の観点から情報化を世界システムのグローバルな近代化のなかに位置付け、現在の状況を、①国民国家、②世界市場、③インターネットからなる社会の3層構造と、その相互作用によって構成されている、と考えます。この観点から本講義が対象とする社会状況はつぎの通りです。</p> <p>(2) 国民国家と国際社会のレイヤーでは、近年のパワー・バランスの変化から、いわゆる米・中冷戦が、またこれとあわせて NATO の東方拡大に対するロシアの対応から、国際社会に新たなブロック化が生じています。国際社会のブロック間の対立とは、軍事的な衝突だけでなく、経済的な競争からイデオロギー対立やハイブリッド戦争までを含むものです。具体的には相互の経済的なブロック化と集団的自衛＝同盟が一体となった競合状態が生じています。</p> <p>(3) ここでわれわれが想起すべきなのは、米・ソの冷戦期に日本で「総合安全保障」という広義の戦略思想が構築されたことです。この戦略思想は、大平首相のリーダーシップによって作成されたもので、猪木正道、久保卓也、高坂正堯という当代一流の戦略家が関与していました。2022年に(同じ宏池会の)岸田内閣が策定した「経済安全保障推進法」と1980年の「総合安全保障研究グループ報告書」を対比し、この間の出来事、つまり米・ソの冷戦の終結、国連の平和維持活動、9.11、3.11、台湾海峡危機といった事象をフォローすることによって、日本の総合安全保障を具体的な政策およびその変化として理解するものとします。</p>

Course Code	512226	Term	S 1	Credits	2
Course Title	Cross-Strait Relations				
Faculties	MATSUDA Yasuhiro				
Course Objectives/Overview	<p>Course Description</p> <p>The aim of this seminar is to introduce and analyze the political history of Taiwan and the Cross-Strait relations, or relations across the Taiwan Strait. It will seek to identify core issues in Taiwan and the Cross-Strait relations from dimensions of history, politics, economy, international relations, and regional security. The main</p>				

	<p>requirement for this seminar is a 20-minute research presentation and paper writing on a topic to be agreed upon in consultation with the instructor. Students are requested to read required readings beforehand and post short comments (including questions within 200 words) of them at ITC-LMS one day before the class. All the students who are interested in politics and international relations in East Asia are welcome. Lecture, presentation, discussion, and paper-writing are done in English.</p>
--	--

Course Code	5122231	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	政治分析方法論 I				
Faculties	福元 健太郎				
Course Objectives/Overview	<p>政治分析方法論とは、政治に関する数量データを統計分析する方法に関する学問分野である。例えば、政策に所期の因果的効果がどれほどあるか、社会に隠されている不正や偏見はどのようなものか、などといった問いに答えるにはどのような方法を用いればよいのかを検討する。政治分析方法論Ⅱも受講することで、政治現象を分析するのに必要にして十分な統計分析の方法を体系的に修得し、自分でデータ分析できるようになることが到達目標である。究極的には、政治学の最前線の論文を読み、それと同等の論文が書けるようになること、少なくとも本講義受講後は自力でそこまで辿り着けるようになることまでを目指している。統計分析が役に立つことを伝えたいと考えている。</p> <p>概要は、まず前半で、標準的な前提が成り立つ（きれいな）場合の統計分析を講義する。次いで後半で、標準的な前提が成り立たない（きれいでない）場合にどう対応すればよいかを、因果推論を軸に解説する。統計分析ソフトウェア R を用いる。シミュレーションを多用し、直感的な理解を助ける。社会科学の統計分析としては、初級から中級程度の内容である。</p>				

Course Code	5122232	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	政治分析方法論Ⅱ				
Faculties	福元 健太郎				
Course Objectives/Overview	<p>政治分析方法論とは、政治に関する数量データを統計分析する方法に関する学問分野である。例えば、政策に所期の因果的効果がどれほどあるか、戦争や平和は何時何故始まる（終わる）のか、などといった問いに答えるにはどのような方法を用いればよいのかを検討する。政治分析方法論Ⅰも受講することで、政治現象を分析するのに必要にして十分な統計分析の方法を体系的に修得し、自分でデータ分析できるようになることが到達目標である。究極的には、政治学の最前線の論文を読み、それと同等の論文が書けるようになること、少なくとも本講義受講後は自力でそこまで辿り着けるようになることまでを目指している。統計分析が役に立つことを伝えた</p>				

	<p>いと考えている。</p> <p>概要は次の通り。第1に、データの中の個体がお互いに影響し合っている場合について論じる。第2に、目に見えるデータの背後に何らかのモデルを設定する場合を解説する。第3に、説明する対象が複数ある場合について講義する。統計分析ソフトウェアRを用いる。社会科学の統計分析としては、中級程度の内容である。</p>
--	---

Course Code	5122233	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	政治分析方法論演習				
Faculty	福元 健太郎				
Course Objectives/Overview	<p>政治分析方法論とは、政治に関する数量データを統計分析する方法に関する学問分野である。本演習では、政治現象を数量データ化し、統計技術を用いて、科学的に分析する手法を実践する。その到達目標は、統計分析の面白さを体験し、実際に自分で統計分析できるようになり、政治について新たな発見をしてもらうことにある。概要は次の通りである。論文講読と課題研究を同時並行で進めていく。</p> <p>論文講読は、後述する課題研究を念頭に置きながら、実際に統計分析を用いた（政治学の）書籍や論文を読み、何ができるのか、どのようにやればいいのか、ということを実践的に習得する。1回で1冊の本の半分程度または数本の論文を読む。英語文献を含む。</p> <p>課題研究は、受講生が各自テーマを決めて、データを自分で集めて分析する。テーマの例としては、投票率や得票率を決める要因、分配や規制などの政策を決める要因、昇進を決める要因、などを探ることが考えられる。必要に応じて教員からもテーマを提案する。優秀な論文は学術誌で発表することを目指す。</p>				

Course Code	5122234	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	政治分析方法論研究				
Faculty	福元 健太郎				
Course Objectives/Overview	<p>政治分析方法論とは、政治に関する数量データを統計分析する方法に関する学問分野である。今年度の本授業は、自然実験に焦点をあてる。実験がやりにくい政治の世界において、自然実験は観察データを用いて因果推論を行う方法であり、昨今の政治学において広く使われている。受講生が、英語の学術論文を読めるようになり、自然実験を理解できるようになることが、到達目標である。</p> <p>毎回、自然実験に関する主要な論文を適宜選んで講読する、というのが概要である。</p>				

Course Code	5122236	Term	A1A2	Credits	2
-------------	---------	------	------	---------	---

Course Title	International Politics in East Asia
Faculties	佐橋 亮
Course Objectives/Overview	This course does not focus on a particular nation's foreign policy. Rather, we examine the impacts of both the rise of Asia, regionalism and American commitment on the order in East Asia. Behaviors of not only great powers but small and middle powers are to be analyzed.

Course Code	5122255	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	社会安全政策論				
Faculties	郷治 知道				
Course Objectives/Overview	社会安全政策論においては、犯罪を中心とした人の行為に起因する危険から個人や社会を守るための政策を扱います。本講義を通じて、2000年代初め20年間の日本における治安の劇的改善を理論的に理解することができ、また、サイバー犯罪、サイバー攻撃、ストーカーその他、個人が直面し得るリスクや課題に適切に対応するための鍵を得ることができます。さらに、講義や、レポート及び議論を通じて、社会における様々な課題を把握し、分析し、その解決策を提示する能力を養うことを目指します。				

Course Code	5122384	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Space Development and Public Policy				
Faculties	KIKUCHI/NAKASUKA/KURIYAMA				
Course Objectives/Overview	<p>This course aims to provide an overview of space governance from the perspectives of space policy and law. For this purpose, lectures are to be given by academia, practitioners and specialists in outer space activities and utilization. The course requires students to explore the possible solutions/proposals on specific themes through joining group work and writing individual report.</p> <p>Space governance and space policy are interrelated and the key terms in understanding how space missions need to cope with the existing regulatory framework and how to identify pressing issues/challenges that all space actors need to go through. Such knowledge is beneficial not only to traditional actors (e.g., government and national space agencies) but also to New Space actors (e.g., private entities) or new space-faring nations (e.g., UAE) who started space missions recently. With the increasing number of space actors, due to growing interest in Sustainable Development Goals (SDGs), various space applications both by government and private sector are flourishing to support societal needs. Considering such a crowded situation in Earth orbit and the limits of resources available in outer space, this course provides comprehensive lectures that help students to explore the possible and practical solutions necessary for pursuing further space activities.</p> <p>In FY 2024, before dealing with the latest topics including space traffic management (STM), space resources exploration, and space x SDGs, the course provides introductory lectures on space policy and law, governance of various space</p>				

	activities, the role of space actors (i.e., space agencies, industry, international organizations) and the process/forum of rule-making for sustainable space activities.
--	---

Course Code	5122390-2	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	現代日本政治論演習				
Faculties	谷口 将紀				
Course Objectives/Overview	<p>せっかく東京大学に来たのですから、講義を聞いたり本や論文を読んだりするばかりではなく、論文（計画書）として学修成果を形にしてみませんか。本演習では、現代日本政治研究に興味がある学生を対象に、基本的な研究法の修得から始め、若手研究者との対話、最新の研究例の検討、そして参加者一人一人の研究計画書作成までをカバーします。その先のデータ・資料の収集・分析や論文の作成まで関心のある学部生・公共政策大学院生は、本演習と並行して、またはAセメスター以降にリサーチペーパー・研究論文を履修してください。現代日本政治に対してレヴェアンスのある射程の大きなリサーチデザインを立てる力を養うことが目標です。</p>				

Course Code	5122451	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Health Policy and Governance				
Faculties	JIN BEI				
Course Objectives/Overview	<p>This course will introduce the fundamental structure of the health system, with a special focus on the role of health policy and governance in achieving higher performance. The design and analytical frameworks for health systems and policies, as well as critical global health issues will be introduced. By the end of this course, students are expected to be familiar with key health system challenges and corresponding policy options, and be able to apply the analytic frameworks and practical tools presented in this course to identify and address problems in health systems.</p>				

Course Code	5122501	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	海洋科学技術政策論				
Faculties	山口 健介				
Course Objectives/Overview	<p>科学技術の進歩等により、「海洋の自由」という国際法上の原則では海洋の管理が不十分になりつつあります。すなわち、海洋調査技術、資源開発技術、エネルギー技術等の進歩により、海が資源としての意味を持ち始めた結果、海洋開発をめぐる権利や利益が利害関係者間で争われる対象として立ち現れてきました。海は誰のものか？どのように利害関係を調整するのか？本講義の目的は、科学技術が海洋権益を生み出す過程とそれへの対応過程を理解し、関連する公共</p>				

	<p>政策上の論点を学ぶことです。国際海洋研究所によるベーシックなテキストブックを学び合う形式で進めます。評価は、授業への貢献を基本とします（初回ガイダンスで詳細を説明します）。</p> <p>*基本的にオンライン開催の予定ですが、対面希望が多い場合は対応いたします。初回ガイダンス（オンライン）で検討します。</p>
--	---

Course Code	5122502	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	海事政策論				
Faculties	長谷 知治				
Course Objectives/Overview	<p>四面を海に囲まれた我が国の経済・国民生活を支える上で、海事産業は非常に重要な役割を担っている。例えば、輸出入貨物の99.7%は海運により輸送されているが、昨今はウクライナ情勢や中東情勢により、スエズ運河・紅海を航行する船舶に対する攻撃を避けるため、喜望峰周りを余儀なくされ、航行日数の増や物流コストに影響が及んでいるなど、海事産業は日常生活では身近ではないものの、私達の生活に大きな影響をもたらすものであり、その安定的な運航等が不可欠である。</p> <p>海事産業として、主要分野には、国際・国内の海上輸送（貨物、旅客）、クルーズ、造船、船員、港湾、海上保安、税関、海上保険等があり、また物流、人流全体に関わるものである。そして、それぞれの分野では、安全確保、事業振興、環境対策、セキュリティ、離島振興、観光振興、人材確保・育成等の視点から必要な政策が議論され、立案、実施されている。また、海事政策においては、法令・予算・税制といった国内における措置に加え、IMO, OECD, ILO等国際機関への対応も重要な要素となっている。</p> <p>この授業では、海事関係の様々な分野の事業や業務の構造、歴史、制度、最近の課題や政策、今後の見通し等について、多面的に理解することを目標とする。講師が中央省庁の現職の実務家の教員であり、リアルタイムの政策過程やその経験も踏まえつつ講義を行うとともに、様々な分野の第一線で活躍している政策当局者、海事産業に係る実務関係者、学識経験者の話を伺い、質疑応答する機会を第2回から第12回において設ける。これにより、最新の業界や政策の動向や課題を把握するとともに、疑似的な政策当局として質疑を行い、政策を考察する機会とする。政策については、海事だけでなく他の交通モードや他の政策分野、内外比較も踏まえることとする。</p> <p>なお、この授業は、大学院横断型教育プログラムの一つである海洋学際教育プログラムを構成する科目でもあることを踏まえ、法律、行政、海事産業等に関する予備知識を有しない者にも理解しやすいように配慮する。</p>				

Course Code	5122503	Term	A1A2	Credits	2
-------------	---------	------	------	---------	---

Course Title	Global Political Economy
Faculties	SUZUKI Kazuto
Course Objectives/Overview	This lecture aims to help explaining and understanding the structure of international order and issues in international public sphere. The key concept for this understanding is globalization. Globalization of market, technology and international security closely knitting up states and actors to global arena, while political structure is geographically divided into 200-some sovereign states. Only these states have legitimate foundation of power to exercise its military, economic and legal capacities. The inconsistency between single global arena and locally divided political authorities requires new concepts and methodologies for analyzing international order under globalization.

Course Code	5122504	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Science and Technology in International Relations				
Faculties	SUZUKI Kazuto				
Course Objectives/Overview	The objectives of this course are threefold. First, it will focus on how science and technology changed international relations. It argues that the development of science and technology in military, health, navigation and other technologies have impacted on the relationship of interstate power relationship and the civilization. Second, it will focus on how international relationship has shaped and directed the course of science and technology development. In this segment, it will take up space and nuclear technologies of which are subject of export control. Third, it will focus on science and technology changed the structure of international trade, finance and intellectual base. It will argue how science and technology has impacted on international governance.				

Course Code	5122505	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Governance of Space Activities				
Faculties	SUZUKI Kazuto / VERSPIEREN Quentin				
Course Objectives/Overview	<p>This course aims to raise awareness on the critical role of space technology in our daily lives and the important implications it has on domestic policymaking and international relations.</p> <p>The first part of the course, titled "Space and Society", provides an overview of major space technologies and their applications. It then demonstrates how space assets have become a critical infrastructure on which advanced societies are over-reliant, and the hazards and threats that they are facing.</p> <p>The second part of course delves into political science and international relations. It addresses the various approaches to space policymaking, the structure of international relations in outer space and the major challenges ahead for the space sector.</p>				

Course Code	5122506	Term	A1A2	Credits	2
-------------	---------	------	------	---------	---

Course Title	Evidence-based Science & Technology Policy Design
Faculties	柴山 創太郎
Course Objectives/Overview	Science, technology, and innovation (STI) shape the foundation of the contemporary society and thus make a major arena of public policy. The complex nature of the STI system poses various challenges, and effective policymaking approaches have been explored and developed. Evidence-based policy making (EBPM) is one such approach that is expected to address the challenges and has been implemented in STI policy design, although it has its own challenges and limitations. In this course, students are expected to learn the context of STI and the basis of EBPM as well as to learn how EBPM can be applied to STI policy design.

Course Code	5122507	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	国際通商秩序と日本の通商政策				
Faculties	宗像 直子／林 良造／三田 紀之				
Course Objectives/Overview	国際秩序が揺らぐ今日、安全保障の視点と自由貿易の拡大による経済発展の両立を持続可能な形で実現するにはどうすれば良いのか。自由民主主義国家間の合意として構築された戦後秩序の原点に立ち返り、その後の歴史を動かしてきた要素間の連関を学び、より望ましい姿とそれを実現するための政策を構想する力をつける。				

Course Code	5123021	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	環境政策				
Faculties	有馬 純				
Course Objectives/Overview	地球環境問題とエネルギー問題の密接不可分な関係、IPCCの科学的知見と不確実性、地球温暖化をめぐる国際ガバナンスの動向、温暖化対策の理論と実際、我が国における温暖化対策、目標の動き等についての理解の増進を目的とする。				

Course Code	5123028	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	観光政策 I (基礎編)				
Faculties	三重野 真代／大橋 弘／篠原 康弘				
Course Objectives/Overview	<p>【概要】</p> <p>観光は、インバウンドや国内交流の拡大を通じて、我が国経済を牽引する新たな成長分野である。また、観光は、多様な関係者の取組で成り立っており、その波及分野の広さ、波及効果の大きさから、地域活性化・地方創生の推進役としても期待されている。</p> <p>一方で、コロナ後の観光需要の変化への対応や、観光と地域社会の共存などの課題も生じてきており、これらの課題に適切に対応しつつ、持続可能な形で観光を発展させていくことが求められている。</p>				

	<p>以上のような認識に立って、本講義では、産官学の多様なゲストスピーカーによる講義、ディスカッション、現地視察を通じて、観光が多様な主体による多彩な取り組みによって成り立っていることを総合的かつ俯瞰的に理解したうえで、観光立国の推進に向けて、我が国の経済成長や地域の課題解決に貢献できる観光の在り方とその実現方策、観光政策の課題とあるべき方向性について、考察を深める。</p> <p>【目標】 基礎編では、多様な活動の総体である観光と、それを対象とする観光政策を、理論的観点から総合的・体系的に理解するため、観光・観光政策を、各回、観光マーケット論、観光地域経営論、観光産業論等の異なる切り口から取り上げ、観光の持つ特性・現状・課題を把握するとともに、観光立国を目指すうえで必要となる観光政策の方向性について、諸外国の観光政策や制度等とも比較対照しながら、考察を深める。</p>
--	---

Course Code	5123029	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	観光政策Ⅱ（実践編）				
Faculties	三重野 真代／大橋 弘／篠原 康弘				
Course Objectives/Overview	<p>【概要】 観光は、インバウンドや国内交流の拡大を通じて、我が国経済を牽引する新たな成長分野である。また、観光は、多様な関係者の取組で成り立っており、その波及分野の広さ、波及効果の大きさから、地域活性化・地方創生の推進役としても期待されている。</p> <p>一方で、コロナ後の観光需要の変化への対応や、観光と地域社会の共存などの課題も生じてきており、これらの課題に適切に対応しつつ、持続可能な形で観光を発展させていくことが求められている。</p> <p>以上のような認識に立って、本講義では、産官学の多様なゲストスピーカーによる講義、ディスカッション、現地視察を通じて、観光が多様な主体による多彩な取り組みによって成り立っていることを総合的かつ俯瞰的に理解したうえで、観光立国の推進に向けて、我が国の経済成長や地域の課題解決に貢献できる観光の在り方とその実現方策、観光政策の課題とあるべき方向性について、考察を深める。</p> <p>【目標】 実践編では、基礎編における観光・観光政策についての理論的観点からの理解を踏まえ、自治体・DMOによる観光戦略・観光地域経営の事例や、観光産業による多様な観光需要に対応した事業展開の事例を取り上げ、観光政策を実践するうえでの課題や、関係者の観光政策に対する問題意識等を把握し、実践的な観点から、観光政策に求められる方向性や配慮すべき事項等について、考察を深める。</p>				

Course Code	5123030	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	都市地域政策				
Faculties	高橋／大津／河端				
Course Objectives/Overview	現実の都市地域政策を経済学のツール等を用いて分析・評価する能力を養うことを目的とする。講義において実際に取り扱うテーマは、土地政策、住宅政策、土地利用規制、コンパクトシティー政策、国土政策等の中から、適宜選択する。合わせて、GIS（地理情報システム）を活用して都市地域政策を分析する基礎を講じる。				

Course Code	5123031	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	地域交通政策研究				
Faculties	小椋 康裕／宿利 正史				
Course Objectives/Overview	鉄道、バス、デマンド交通、フェリー、リージョナル航空など地域交通を担う交通事業者（経営者や現場の取組みの責任者）、行政（国、地方公共団体）、研究者がオムニバス形式による講義で具体的な政策や事例の解説を行い、講師・教員と学生とのディスカッションや現地視察を通じて、地域交通政策に関する考察を深める。				

Course Code	5123032-1	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Energy Security				
Faculties	ARIMA Jun				
Course Objectives/Overview	Learn about individual energy sectors from global energy security perspective. Find out public policy issues for each sector and develop policy responses to enhance secure, affordable and sustainable energy supply.				

Course Code	5123033	Term	S 2	Credits	2
Course Title	Energy Systems				
Faculties	KOMIYAMA Ryouichi／FUJII Yasumasa				
Course Objectives/Overview	In this course, basics of energy systems on and around nuclear energy are explained comprehensively. Environmental and economic evaluation methods associated with energy use and development are also mentioned so that the students can obtain balanced knowledge and ways of thinking of energy systems.				

Course Code	5123034	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Resilience Engineering				

Faculties	SHIBASAKI Ryuichi				
Course Objectives/Overview	Resilience is the intrinsic ability of a system to adjust its functioning prior to, during, or following changes and disturbances, so that it can sustain required operations under both expected and unexpected conditions. Resilience can be an advanced concept of safety based on probabilistic concept of risk and now drawing attention of researchers and practitioners. Resilience engineering is an academic area of study to pursue methodologies how to implement resilience to complex socio-technological systems. This lecture provides fundamental concepts, frameworks of resilience engineering as well as an up-to-date overview of specific applications.				

Course Code	5123038	Term	S 2	Credits	2
Course Title	Data Science for Practical Economic Research				
Faculties	KUCHERYAVYY Konstantin				
Course Objectives/Overview	<p>Despite its name, this class is on forecasting methods in economics and applications of machine learning methods to forecasting. A typical class on machine learning focuses on cross-sectional data, leaving almost no space for a discussion of how to work with time series data and how to make forecasts with such data. The purpose of this class is to cover this gap. This class might be useful for students who plan to work at financial companies and government entities tasked with making forecasts. We will closely follow the textbook by G. Elliott and A. Timmermann "Economic Forecasting". The book is quite advanced and requires good understanding of probability and statistics. During the lectures, we will cover chapters from this textbook and perform hands-on sessions. The required programming language is Python.</p> <p>Students taking this class will be assumed to be familiar with basics of Machine Learning, probability and statistics, as well as programming in Python.</p>				

Course Code	5123042	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	International Trade				
Faculties	FURUSAWA Taiji				
Course Objectives/Overview	We will learn the core theories of international trade at an advanced level. We will cover the theories that have been used extensively in the research frontier of international trade. The aim for this course is to give enough knowledge and understanding to read papers in this field and to construct one's own model for analyzing various issues in international trade.				

Course Code	5123046	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	食糧安全保障と農業政策				
Faculties	山下 一仁				
Course Objectives/Overview	どのような分野の政策でも、ファクツやエヴィデンスを踏まえて、これをロジック・セオリーで構築することによって、企画・立案する（考える）ことが必要である。しかし、日本の食料・農業政策は、				

	<p>誤った事実認識や観念に基づき、また経済的な理論による裏付けもなく、企画・立案されてきた。特に、高度成長期以来、農業と政治との関係が深まるにつれて、このような傾向が高まり、その結果、農政自体が、農業の後退、食料自給率の低下を招いた。</p> <p>この講義では、日本の食料・農業政策を批判的に検討しながら、それを通じて、政策の企画・立案に真に必要となる“考える力”を養うことを目的とする。</p>
--	--

Course Code	5123047	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Behavioral Science for Public Policy				
Faculties	ONUKEI Mayuko				
Course Objectives/Overview	<p>The goal of this course is to enhance students' abilities to apply insights from the behavioral sciences in designing policies and interventions that improve well-being of societies across the world. This course accomplishes it by 1) providing a general overview of recent advancements in behavioral science research from psychology and behavioral economics, and 2) analyzing the gaps between research, evidence and practice. Applications of the materials covered in this course include public health, environment, management, education, business, politics, and development, among others.</p>				

Course Code	5123048	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	震ヶ関における政策改革の手法（農政改革の実例から学ぶ）				
Faculties	奥原 正明				
Course Objectives/Overview	<p>地盤沈下しつつある日本経済を立て直すためには、様々な分野で、時代に合った大胆な政策改革をスピード感をもって実行し、経済の活力を取り戻していく必要がある。</p> <p>この授業は、行政機関等において政策の立案・実行に従事しようとする受講者を対象として、経済社会の発展に資する骨太な政策改革をスピード感をもって実現していくために必要な考え方・行動の仕方等を習得してもらうことを目的とする。</p> <p>そのため、農政改革の実例を検証しつつ、政策改革を進めるためのポイントを抽出する。</p>				

Course Code	5123062	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	国際開発政策・評価論				
Faculties	青柳 恵太郎				
Course Objectives/Overview	<p>エビデンスに基づく国際開発援助実践（Evidence-Informed Practice in International Development）のために必要となる基礎知識の習得を目指す。具体的には、①エビデンス（介入効果の検証結果）を用いた開発援助プロジェクトの立案ができるようになること、②有効性が実</p>				

	<p>証されていない介入については、その検証方法（評価デザイン）を描けるようになることの2点を目標とする。後者については、特にランダム化比較試験（Randomized Controlled Trial : RCT）による効果検証を中心に据え、開発援助実務者の視点から実践方法について学ぶ。</p> <p>RCTは確証度のもっとも高いエビデンスを作り出せる評価デザインである。その基本的な考え方は、対象者を介入群（介入を受けるグループ）と統制群（受けないグループ）にランダムに割り当て、介入群への介入実施後に両群の状態を比較するという非常に単純なものである。しかし、現実社会のなかでRCTによってエビデンスをつくり出す際には、開発課題を明確化させることに始まり、政策担当者や現場担当者との合意形成、検証方法のデザイン策定、実施プロセス管理、データ収集、分析、そして結果のまとめといった非常に泥臭いプロセスの中で様々な課題やつまづきに頻りに直面することになる。本講義では現実味のある環境を想定した演習の中で準備からデータ分析までの一連のプロセスを体感することで、実践力を養成することを重視する。</p>
--	---

Course Code	5123081	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Political Economics				
Faculties	WEESE/WATANABE				
Course Objectives/Overview	<p>The course is an introduction to the topic of political economics. The course provides theoretical and empirical coverage of the application of economic analysis related to political behavior and political institutions. The objective of this course is to develop understandings of basic models of political economics and related empirical analysis.</p> <p>This course is intended for students with an academic interest in political decision-making. It is aimed at those considering a career in research in political science or economics, but other students are welcome to attend.</p>				

Course Code	5123082	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Topics in Political Economics				
Faculties	WEESE/WATANABE				
Course Objectives/Overview	<p>This course covers some of the recent developments in political economics with emphasis on structural empirical work. It is intended for students with an academic interest in political decision-making.</p>				

Course Code	5123171	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	政策担当者が語る日本の財政金融論				
Faculties	服部 孝洋/仲 浩史				

Course Objectives/Overview	<p>経済社会がかつてない構造変化に直面し、社会保障制度や国と地方のあり方、国際金融システム等の戦後わが国の基盤となってきた様々な制度が大きく変容していく中、国家におけるリソース配分の在り方や国家の資金の流れといった観点からの政策対応の検討がますます重要になっています。また、我が国の財政は、先進国の中でも最悪の状況になっており、財政構造改革が喫緊の課題になっています。本講義では、政策実務担当者をゲストスピーカーとして招いて、これらの現状についての理解を深めるとともに、課題の解決に向けた政策立案について学びます。</p>
----------------------------	--

Course Code	5123172	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Evolution of Global Economic Policies				
Faculties	NAKAO Takehiko				
Course Objectives/Overview	<p>Students study through this course i) how economic policies have evolved since the demise of the Bretton Woods system in the 1970s, ii) what were impacts of Asian financial crisis in the late 1990s and the global financial crisis in 2008/09, iii) how Asian countries have achieved high growth and poverty reduction, and iv) what are new and emerging challenges for Asia and the World. Lecture is both theoretical and empirical, and based on the lecturer's experiences.</p> <p>He is Chairman of Institute, Mizuho Research & Technologies (April 2021-), Chairman of Mizuho Research Institute (2020-2021), President of Asian Development Bank (ADB) (2013-2020), Vice-minister of Finance for International Affairs dealing with G7, G20, and IMF issues (2011-2013). He was engaged in many policy issues regarding tax, budget, and financial sector policy since he joined the Ministry of Finance in 1978. He was also an advisor in IMF's Policy Development and Review Department (1994-97) and Minister at the Embassy of Japan in Washington DC (2005-2007).</p>				

Course Code	5123174	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Macro Contract Theory and Empirics				
Faculties	UEDA Kenichi				
Course Objectives/Overview	<p>Understand the general equilibrium of contract theory and its implications for a macroeconomy. Note that this course is primarily for doctoral students or those who hope to enter a doctoral program. This course is quite mathematical and starts with learning key mathematical concepts such as topology and probability measures. Students are expected to understand the fundamental mechanisms (e.g., Nash equilibrium, core, lottery equilibrium) to support a general equilibrium with frictions, particularly financial frictions. Students are expected to recognize key model assumptions to make decentralized allocations of consumption and investments to be equal to, or not equal to, the socially optimal allocations. Policy implications naturally follow.</p>				

Course Code	5123211-2	Term	S 2	Credits	2
-------------	-----------	------	-----	---------	---

Course Title	Foundations of Development Economics
Faculties	SAWADA Yasuyuki
Course Objectives/Overview	This course will be composed of English lectures on advanced graduate-level development economics.

Course Code	5123215	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Contemporary Issues in Development Economics				
Faculties	CHEN Stacey				
Course Objectives/Overview	<p>This course covers contemporary development economics topics in developed and developing countries.</p> <p>This year, I will highlight four topics:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Detection of gender bias. 2. Addressing agency problems: Social network vs. information. 3. The demand-side design of programs for public spending control: Patient cost-sharing in medical spending of public healthcare systems. 4. The supply-side design of programs for promoting equity: School/hospital opening. <p>It is appropriate for graduate students in economics, public policy, agricultural and resource economics, and related fields.</p> <p>**Prerequisite: Econometrics for Public Policy or its equivalent</p>				

Course Code	5123221	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Interdisciplinary Issues in Development Economics				
Faculties	庄司 匡宏				
Course Objectives/Overview	<p>This course covers interdisciplinary research topics in economic development, such as health, gender, non-cognitive skills, and community.</p> <p>Each topic consists of two sections. In the first section, we comprehensively review the broad literature in economics and related fields, such as sociology and psychology. The goal of this section is to understand various socio-economic issues in developing countries comprehensively.</p> <p>In the second section, we focus on a few recent empirical papers and discuss the details, such as their contributions to the literature, econometric methodology, and policy implications. This section aims to learn how to read and write academic papers rigorously.</p> <p>This course is for a broad range of students who are interested in any careers related to international development, including development practitioners and researchers.</p>				

Course Code	5123232	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Empirical Analysis of Dynamic Macroeconomic Models				
Faculties	SHINTANI Mototugu				

Course Objectives/Overview	Empirical analysis of macroeconomic time series data does not only require the description of dynamic properties but also the interpretation of the result in term of the structure of the macroeconomy. To provide such structural interpretation, in the course, we learn (1) the identification of the structural shocks in the vector autoregressive (VAR) model, (2) the use of impulse response function and the variance decomposition, and (3) local projection and the use of instrumental variables. Motivated undergraduate students are also welcome.
----------------------------	---

Course Code	5123236	Term	A 1	Credits	2
Course Title	Topics on Modern Japanese Economy				
Faculties	HOSHI Takeo				
Course Objectives/Overview	日本経済を、歴史的、制度的、グローバルな観点から考察し、日本経済の特徴と課題を明らかにする。長期停滞、人口減少と高齢化、労働市場の状況に反応しない賃金、財政と社会保障制度の維持可能性、非伝統的金融政策の是非といった問題は、日本が世界に先駆けて経験したものである。日本経済を学ぶことによって、他の先進国への教訓を導くのもこの授業の目標の一つである。				

Course Code	5123245	Term	S 1	Credits	2
Course Title	保健医療経済学				
Faculties	康永 秀生				
Course Objectives/Overview	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療経済学の基礎知識を身に着ける。 2. 医療経済学の考え方に沿って、現実の医療経済政策における個別の課題について考察する力をつける。 				

Course Code	5123250	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	エネルギー政策				
Faculties	小山 堅／有馬 純				
Course Objectives/Overview	<p>わが国を取り巻くエネルギー情勢には様々な課題が山積している。コロナ禍の影響でエネルギー価格は暴落したが、その後上昇に転じ、2021年後半からは原油価格が急上昇するなど、同時多発的エネルギー価格高騰が重大な問題となった。また、ロシアによるウクライナ軍事侵攻でエネルギー価格高騰と市場不安定化が加速した。ウクライナ危機によって西側と中ロの対立激化など、厳しい地政学環境が国際エネルギー情勢を揺り動かしている。世界の分断は、経済安全保障の重視をもたらし、エネルギー問題にも重大な影響を及ぼしている。また世界のエネルギー供給の中心である中東情勢はガザ危機の深刻化と拡散によって、一段と不透明化している。</p> <p>他方、「カーボンニュートラル」実現への取組みが世界で進展してきたが、ウクライナ危機の影響でエネルギー安全保障が最重要課題と</p>				

	<p>なり、脱炭素化との両立など新たな課題が生じている。COP28 では、「1.5℃目標」実現のため、世界全体で GHG 排出を 2035 年までに 6 割削減する方向が示され、世界各国がそれに沿って削減目標を提出することが求められている。</p> <p>2024 年は米国大統領選挙を始め、世界で重要な選挙が実施される「選挙イヤー」である、特に米国大統領選挙の結果は、世界のエネルギー・気候変動問題に重大な影響を及ぼすことになり、日本にとって大きな意味を持つことになる。</p> <p>厳しい国際情勢を踏まえ、わが国にとって今後のエネルギー政策課題は山積している。日本のエネルギー政策の基本となる、「エネルギー基本計画」の改定を目指す議論が本年から始まる予定である。2035 年の GHG 排出削減目標を定め、2050 年のカーボンニュートラル実現を図ると共に、エネルギー安全保障強化も目指す、新しいエネルギーミックス・エネルギー政策の実施が重要な問題となっている。</p> <p>内外の最新エネルギー情勢を踏まえつつ、エネルギー安全保障と気候変動問題の一体的・統合的な解決を目指すエネルギー政策の現状と課題について、理解を深めるべく、講義を進めていく。</p>
--	--

Course Code	5123251	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	グリーンエネルギー論				
Faculties	杉山 正和				
Course Objectives/Overview	<p>2050 年にカーボンニュートラルを達成するためには、現状のエネルギーシステムにおける主要なエネルギー源である化石燃料を主に電力へと転換して太陽光や太陽光や風力発電を我が国の主要発電源とし、電力への転換が困難な燃料としてのエネルギー供給は水素などの CO2 フリー燃料で置換する必要がある。一方で、製鉄や化学産業など化石資源の継続利用が避けがたい領域においては、バイオ資源を有効活用するとともに、排出される CO2 を回収して地中に埋設する CCS や、CO2 と水素から有用な炭化水素を産出するカーボンリサイクル技術の開発が待たれる。このような次世代エネルギーシステムに必要な発電やエネルギー貯蔵・輸送技術の原理を俯瞰的に理解し、それらが統合されたエネルギーシステムにおける課題と克服策を議論する。</p>				

Course Code	5123252	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	電力ネットワークの経済学				
Faculties	金本 良嗣				
Course Objectives/Overview	<p>電力システムの大改革が進行中であり、再生可能エネルギーの大量導入、供給安定性の確保、国民負担の低減の 3 つを同時に達成するための、電力システムの再設計が目指されている。非凸性等の複雑な技術的特性を反映して、電力市場の設計は経済学にとってチャレ</p>				

ンジグな課題を多く提供している。この授業では電力システムの経済学的な側面をなるべくわかりやすく解説し、電力市場の設計に関する理解を深めることを目的とする。

Course Code	5123256	Term	S 1	Credits	2
Course Title	Central Banking				
Faculties	AWAZU PEREIRA DA SILVA Luiz				
Course Objectives/Overview	<p>Show the new challenges facing central banks in the 21st century, especially in emerging market economies, in the age of artificial intelligence, climate change, financial volatility and rising inequality. The course starts by reviewing the role of Central Banks and Monetary Policy, a recap of monetary policy regimes, focusing on inflation targeting. Updating the inflation targeting regime is examined since in practice many emerging countries are using the complementarity of several monetary policy instruments. Interest rates are essential to combat inflation and ensure price stability. But to guarantee financial stability, which is part of the CBs' mandates, many countries are using macro-prudential instruments (to prevent excessive credit growth from turning into a financial crisis) and specific interventions in the foreign exchange market. Then the course introduces the topic of environmental sustainability into the CB agenda. Climate change is already affecting the balance sheets of the financial system, insurance companies, etc. due to the increasing cost of more frequent extreme weather events. The objective of financial stability requires that this new type of risk, which is labelled Green Swans, be taken into account and better priced. Then, the course shows how to understand for BCs the effect of income inequality and how it affects the effectiveness of monetary policy. The FED and the ECB began to reflect on this, inequality is more the domain of government, Ministries of social policies, Finance and Planning. But growing inequality has become an issue of growing concern affecting CBs as well. Food and energy inflation in 2021-22 and deep recessions related to the Covid-19 pandemic always have severe distributional effects.</p>				

Course Code	5123262	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Asian Economic Development and Integration				
Faculties	園部 哲史				
Course Objectives/Overview	<p>The course will examine a range of development challenges that the region has faced, and the response made by various economies. It will draw on diverse country, sub-regional, and regional experiences to identify policies that seem to have contributed most significantly to growth and development, examine why they "worked," and how they might be applied in other developing economies. It will consider current policy debates on a host of "hot" topics including poverty and social security, macroeconomic fiscal and monetary policies, infrastructure, the role of small medium enterprises (SMEs), financial sector development, industrial development, food security, and education. At the end of the course, students should understand the key drivers of Asian economic growth, development and integration in the past 50 years and be familiar with a range of development issues likely to influence future policy options in the region.</p>				

Course Code	5123263-1	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Asia's Geoeconomic Landscapes I				
Faculties	西沢 利郎／ARMSTRONG Shiro／上田 倫生				
Course Objectives/Overview	<p>This course gives students an opportunity to exercise scenario analysis as a basis for developing a company's business strategy and drawing implications of business-minded scenario analysis for public policy. This approach aims to fill a perception and behavioral gap between businesses and policymakers. Students are to explore global geoeconomic scenarios by 2030 and examine the alternative geoeconomic landscapes in Asia. The course contains the Japanese business perspective and maintains a practical, hypothesis-driven approach.</p> <p>Geoeconomics is defined as "the use of economic instruments to promote and defend national interests and to produce beneficial geopolitical results" while taking account of "the effects of other nations' economic actions on a country's geopolitical goals" (Blackwill and Harris, 2016, 20). The increasing economic presence of emerging nation-states in recent years, particularly China as a global power, reminds us of the relevance of geoeconomics in world geopolitics and international relations.</p> <p>Background</p> <p>Asia has provided business opportunities for Japanese firms, but with intensified competition and unprecedented geoeconomic uncertainties. The US-China rivalry is evolving into a new norm. Europe is also striving for strategic autonomy, specifically in rulemaking. Emerging economies are asserting greater sovereignty in the business domain. The world can no longer rely on free trade assumptions and must consider the impact of erratic government policies. Consequently, business management's central issue now revolves around strategic decisions to continue operations despite these risks.</p> <p>Scenario analysis is a foundational methodology for businesses and policymakers navigating through strategy development in an uncertain world. It helps decision-makers and business leaders prepare for future risks and identify potential opportunities for businesses to seek a competitive edge.</p>				

Course Code	5123264-1	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Asia's Geoeconomic Landscapes II				
Faculties	西沢 利郎／ARMSTRONG Shiro／上田 倫生				
Course Objectives/Overview	<p>This course gives students an opportunity to produce a consulting report for the client, Bain & Company, to assist a Japanese company in developing a renewed business strategy in Asia's geoeconomic reality and draw implications for government policies from business perspectives. This approach aims to fill a perception and behavioral gap between businesses and policymakers. The course also serves as hands-on training for professional writing and communication.</p> <p>Students must work in teams under the instructor's guidance as a practical training course with an active learning approach. The external clients review and receive the deliverables as if the students run a real-world consultancy project. The course also serves as hands-on training for professional writing.</p> <p>Geoeconomics is defined as "the use of economic instruments to promote and</p>				

	defend national interests and to produce beneficial geopolitical results” while taking account of “the effects of other nations’ economic actions on a country’s geopolitical goals” (Blackwell and Harris, 2016, 20). The increasing economic presence of emerging nation-states in recent years, particularly China as a global power, reminds us of the relevance of geoeconomics in world geopolitics and international relations.
--	--

Course Code	5123272	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	医療イノベーション政策				
Faculties	鈴木 寛／昌子 久仁子／黒河 昭雄				
Course Objectives/Overview	<p>目標： 本授業は、医療イノベーションの諸相について理解を深めるとともに、その課題を分析する力を身につけることを目標とする。</p> <p>概要： 一国の医療の水準、そしてその結果としての健康の水準は、医療に対する支出の全体の水準と個別の価格設定、提供される医療の安全・安心や一定の質を確保するための国家の関与、医療事故に対する責任の構造、効率的で公平な国民のアクセスを提供するための人的・物的インフラの整備のルールなどに対して、医師、患者、病院、保険者、薬局、製薬企業、医療機器メーカーなど様々な主体が反応していく行動の総体として決定される。そして、これらの主体の行動や制度の有効性は、少子高齢化の進展、グローバル化の展開、経済成長の動向、医療技術の進歩などにより変化している。本講義は、医療水準やその結果としての国民の健康の水準を決定する様々な制度について、当事者間の合意と市場の働きに委ねるのではなく国家の関与が必要とされる理由にさかのぼって考え理解するとともに、特に近年、医療・健康政策と経済成長のための政策の両面から注目されている「医療イノベーション」に視点を当ててこれらの諸制度の評価を行う。</p> <p>医療をめぐる近年の急速な技術進歩やグローバル化の進展を理解するとともに、基礎的科学から患者への提供にいたるヘルスケア産業のイノベーションの過程を取り上げ、国際的な比較を交えて、日本のイノベーション環境の評価を行う。また、「医療イノベーション」を経済成長のための政策としてみる場合の留意点について理解する。それらに合わせて、先端医療技術の活用におけるリスクや不確実性、個人情報保護、倫理上の課題も取り扱う。具体的な事例としては、医薬品・再生医療・医療機器に関する研究開発や承認プロセス等を扱う予定である。</p>				

Course Code	5123350	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Public Policy and Energy				
Faculties	YOSHIKAWA Hisashi／BIROL Fatih／KUSAKA Kazumasa				

Course Objectives/Overview	This course aims to help students acquire practical understanding of public policy by focusing on global energy and climate change policy. Through the class, students will develop pragmatic skills such as policy analysis, policy brief preparation, presentation, and communication. These skills will be useful for future careers whether in the public or private sectors.
----------------------------	---

Course Code	5123400	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Economic Analysis of Innovation				
Faculties	YARIME Masaru				
Course Objectives/Overview	<p>This course discusses the functions and mechanisms of innovation systems and the economic assessment of their impacts, with implications for industrial structure and dynamics and societal challenges. Particular attention is paid to corporate strategy, public policy, and institutional design. Among the issues to be discussed in this course include models of technological change, systems approaches to innovation, research and development, intellectual property rights, university-industry collaboration, public policy for innovation, and case studies in various sectors. The processes of producing, adopting, and utilizing innovations are elaborated from a perspective of co-evolution of technology and institutions. Analysis of economic evolution is introduced, and its concepts and methodologies are elaborated to represent and model the dynamics of innovations. Systemic approaches are taken to discuss the functions and structure of innovations at the national as well as industrial levels. These theoretical frameworks introduced in the first half of the course are utilized to understand the mechanisms of creating innovations on various types of societal issues, including food, energy, chemicals, information and communication, and health. Implications for public policy and institutional design are explored for a transition towards global sustainability.</p>				

Course Code	5123401	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Economic Analysis of Pandemics				
Faculties	NAKATA Taisuke / IWAMOTO Yasushi				
Course Objectives/Overview	<p>You will learn both theoretical and empirical analyses related to pandemics. You will learn tools that are aimed to at analyzing the causal effects of policy interventions on infection and the economy. More generally, You will see various econometric methods in the context of Covid-19 crisis.</p> <p>You will learn analyses that were actually used as input to policy during the Covid-19 crisis in Japan. You will learn what happened during the Covid-19 crisis through research papers.</p> <p>You will meet people who were conducting policy-oriented research and/or providing their analysis to the Japanese government in the midst of the Covid-19 crisis.</p>				

Course Code	5123402	Term	A1A2	Credits	2
-------------	---------	------	------	---------	---

Course Title	Advanced Time Series Analysis
Faculties	SHINTANI Mototsugu
Course Objectives/Overview	Most macroeconomic data show dynamic properties in the sense that the current value is connected to events in the past in some forms. A formal statistical analysis of this dynamic feature helps us understand and forecast the macroeconomy. In the course, we learn the basic time series models including autoregressive (AR) model, vector autoregressive (VAR) model, dynamic factor model and machine learning. Motivated undergraduate students are also welcome.

Course Code	5123405	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Global Financial Market, Institutions, and Regulations				
Faculties	KAWAI Yoshihiro				
Course Objectives/Overview	<p>This course aims to provide students with first-hand information and knowledge on global financial regulation and help them develop a broad understanding of financial regulation, paying particular attention to the global nature of financial regulation. The course also covers global financial market development.</p> <p>The course covers key topics of global coordination of financial regulation. Issues covered are: history of global financial coordination, the 2008/2009 financial crisis, and the financial regulatory reform after the 2008/2009 crisis. The course in particular discusses key financial regulatory standards in the areas of global systemically important financial institutions (G-SIFIs), recovery and resolution, capital requirements, liquidity requirements, corporate governance, market based finance, over-the-counter derivatives, artificial intelligence (AI), financial technology (Fintech), cyber risk and digital currencies.</p> <p>Students taking this course for credits must take part in all lectures, participate actively in classroom discussions, present a draft term paper on topics related to the course, and submit the final version of the term paper.</p>				

Course Code	5123406	Term	S 1	Credits	2
Course Title	Financial System				
Faculties	HOSHI Takeo				
Course Objectives/Overview	<p>This course studies how the financial system works to support economic growth most of the times and how it gets into a crisis occasionally and puts the economy into a recession. We examine recent papers in economics that tackle these questions theoretically and empirically. The course emphasizes the importance of the informational and incentive problems inherent in financial transactions. The financial system consists of various mechanisms to mitigate those problems but the mechanisms are not perfect and sometimes fail. We also study various aspects of financial stress testing, which has become very popular after the global financial crisis in 2007-2009. Stress tests are used to assess the resilience of individual financial institutions as well as the financial system as a whole to various shocks.</p>				

Course Code	5123433	Term	A1A2	Credits	2
-------------	---------	------	------	---------	---

Course Title	Sovereign Debt
Faculties	NISHIZAWA Toshiro
Course Objectives/Overview	<p>This course has three objectives. First, it aims to help students deepen their understanding of the nature of sovereign debt—public debt compared with private debt (conceptual framework). Second, it tries to familiarize students with sovereign debt issues based on past and current episodes (lessons from history). Third, it allows students to discuss how we should manage sovereign debt to achieve public policy goals (policy implications). Guest advisers will review and comment on the student's work in progress. As a practical training course with an active learning approach, students give presentations, discuss current topics, and produce a policy research paper on a particular country of student choice.</p> <p>† Guest advisers are current and former International Monetary Fund (IMF) staff.</p> <p>Background and motivation</p> <p>We know many episodes of sovereign debt crises. Since the global financial crisis of 2008-09 and following the Eurozone crisis, large buildups of government debt in advanced, emerging, and developing economies have raised concerns over possible sovereign debt crises. There has been an ongoing debate about how to get Japan's sovereign debt under control, representing more than twice the OECD members' average debt-to-GDP ratio. In China, debt owed by local government financing vehicles has been a concern. Furthermore, in some emerging and developing countries, governments have struggled with debt management while pursuing economic development by accumulating public- and private-sector liabilities to various creditors.</p> <p>Most recently, the COVID-19 pandemic has equally worsened the debt prospects for advanced, emerging, and developing economies. The G20 extended its Debt Service Suspension Initiative (DSSI). It endorsed the Common Framework for Debt Treatments beyond the DSSI for the world's poorest countries as a remedy to address debt sustainability problems. Interest hikes against higher inflation rates in the major advanced economies added further pressure on the borrowers. One of the most pressing policy challenges is how to pull a particular country or the global economy out of a vicious circle of debt trap while securing gains from debt.</p> <p>Furthermore, we should look at the interaction between creditors, as inter-creditor equity issues in debt restructuring have often reminded us. We should also look at equity issues from intergenerational perspectives. Public policy professionals should be aware that sovereign debt has essential economic, political, and social consequences, which require considerations of public policy and legitimacy.</p>

Course Code	5123450	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	国際交通政策				
Faculties	宿利 正史／小椋 康裕／大橋 弘／大沼 俊之				
Course Objectives/Overview	<p>航空、海運、鉄道を中心に、国際市場や国際関係を背景に企画立案・遂行される交通政策に関し、行政官、企業経営者、研究者などによるオムニバス形式による講義、講師・教員と学生とのディスカッションおよび現地視察を通じて、交通・運輸の実態を踏まえた国際交通政策のあり方について考察を深める。</p>				

Course Code	5123465	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Economics of the Family				
Faculties	山口 慎太郎				
Course Objectives/Overview	<p>We read and discuss papers on various topics in (broadly defined) economics of the family from top academic journals. Topics include child development, women, and relevant public policies.</p> <p>All students (and the professor) must read an assigned paper before each class. Students are also required to submit a one-page referee report for each paper as a preparation for the class. Each paper is presented by a participant, but everyone else is expected to ask questions or make comments.</p>				

Course Code	5123471	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Labor Economics				
Faculties	KAWAGUCHI Daiji				
Course Objectives/Overview	<p>This course is a graduate level labor economics course. We cover topics on imperfect competition in the labor market. By the end of the class, students are expected to know how the literature has developed in selected topics.</p>				

Course Code	5123473	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Topics in Labor Economics Regarding Firms and Productivity				
Faculties	TANAKA Mari				
Course Objectives/Overview	<p>This course covers topics in labor economics mainly focusing on factors affecting labor demand through firms' decisions and productivity. It is appropriate for graduate students in economics, public policy, or related fields. ** Prerequisite: Econometrics at graduate level, Econometrics for Public Policy, or its equivalent.</p>				

Course Code	5123475	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	機械学習の実証経済学への応用				
Faculties	川田 恵介				
Course Objectives/Overview	<p>現在急速に労働経済学への応用が進展している「機械学習の因果推論への応用」について紹介する。現在、コントロール変数の選択や効果の異質性分析について、機械学習を補助的に用いる手法が多く提案されている。これらの手法は分析の精度を向上させるだけでなく、現在実証研究において大きな問題となっている"Cherry picking"問題を緩和することも期待されている。</p> <p>本講義では、基礎的な因果推論と機械学習を学んだあとに、それらを融合させた手法群について学ぶ。また無料の統計ソフトである R を用いた実習も行う。</p>				

Course Code	5123480	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	金融論（金融制度と企業金融）				
Faculties	服部 孝洋				
Course Objectives/Overview	<p>本講義では金融論を学びます。筆者の考えでは金融は経済学の知見が最も応用されている産業です。その意味で学生はこれらを勉強することを通じて大学での勉強と実体経済をより関連付けることができます。本講義では経済学の応用に関心がある学生はもちろん、経済学と実体経済の関係を知りたいと考える学生を歓迎します。企業金融論など日本の金融システムと関連付けた説明を行う予定です。なお、金融政策については別途講義があるため、本講義ではカバーしない予定です。</p>				

Course Code	5123485	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Environmental Economics				
Faculties	TAKASAKI Yoshito				
Course Objectives/Overview	<p>The objective of this course (EE) is to understand the essential concepts and methods of environmental and natural resource economics. It is designed for a wide range of students who are interested in the environment and natural resources, including those who have no economics background. It covers benefit-cost analysis, environmental valuation, market failure, non-renewable resources, renewable resources, pollution, environmental policies, climate change, and environment and development. This lecture course is offered in English.</p>				

Course Code	5123487	Term	A 2	Credits	2
Course Title	Economic Crisis				
Faculties	KATO Ryo / UEDA Kenichi				
Course Objectives/Overview	<p>Understand objectives and effects of key policies related to economic crises from both theoretical and empirical perspectives. Economic crises can be classified to (1) currency crisis or BOP crisis, (2) sovereign debt crisis, and (3) financial crisis. Students are expected to become familiar with issues that are common, as well as specific to, each type of economic crises. The first two types can be called as macroeconomic crisis, but recently many countries have experienced financial and macroeconomic crises at the same time. Therefore, students are also expected to recognize structural issues on (4) finance-macro linkages in crises. Lastly, this course will cover recent policy discussions developed since the global financial crisis of 2008.</p>				

Course Code	5123488-1	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	金融制度の企画と運用				
Faculties	守屋 貴之				

Course Objectives/Overview	<p>金融資本市場をめぐる様々な政策課題を取り上げつつ、単に制度の説明にとどまらず、どのようなリスク・課題に対応するために、どのような議論を経て制度が企画立案されたのかという視点で、現行の金融制度について概説する。</p> <p>具体的には、例えば、銀行の機能・リスクと規制、金融危機と預金保険・公的資本増強の枠組み、キャッシュレス決済や暗号資産への対応、銀行・証券・保険など業態横断的な金融規制に関する議論、「貯蓄から投資へ」を促す NISA（少額投資非課税制度）、資本市場の活性化策や資産運用業の高度化を図るための制度的対応などを取り上げ、それぞれの背景にある考え方などを解説する。</p> <p>この授業では、将来、政策当局、官民の金融機関、シンクタンク、コンサルティングファームなどで金融関係の実務に携わることを考えている学生をはじめ、金融分野に関心がある学生を念頭に、政策現場で実際に生じた実践的な課題や議論を題材とし、その考察を通じて、現実的かつ実効的な対応策を考える力を養うことを目指す。</p> <p>(注) この授業は、公共政策大学院・経済学部との合併開講科目であり、みずほ証券株式会社の寄付講座の一環である。</p>
----------------------------	--

Course Code	5123495	Term	S 1	Credits	2
Course Title	Monetary Policy				
Faculty	AOKI Kosuke				
Course Objectives/Overview	<p>本講義では金融政策にかかわるトピックをマクロ経済学の分析手法を用いて解説する。取り上げる分野は、金融政策の波及経路、ニューケインジアンモデル、最適金融政策、中央銀行の独立性、資産市場と金融政策等、非伝統的金融政策である。</p> <p>講義は、単一の教科書に基づくものではないが、以下の教科書が有用である。"Monetary Policy, Inflation, and the Business Cycle" by Gali, "Monetary Theory and Policy" by Walsh. 講義ノートはウェブページで入手可能。</p> <p>To learn various topics on monetary policy. Topics covered include: identification of the monetary transmission mechanism, the New-Keynesian models, optimal monetary policy, unconventional monetary policy, central-bank independence, financial markets and monetary policy.</p> <p>The course will not be based on a single textbook, but the following textbooks are useful: ""Monetary Policy, Inflation, and the Business Cycle" by Gali, "Monetary Theory and Policy" by Walsh. Additional readings will be made available to students through the course homepage.</p>				

Course Code	5123505	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Topics in Empirical Microeconomics				
Faculty	SON Suk Joon				
Course Objectives/Overview	<p>The syllabus is preliminary.</p> <p>The focus of the course is to critically understand a selection of papers in empirical</p>				

	<p>microeconomics. Focus will be given to the papers in the following fields: labor economics, industrial organization, and empirical market design. The course will be based mainly on class discussions about selected leading papers in these topics. Although students are expected to have read papers before class, they are also encouraged to bring questions about the parts they do not understand. Before each paper discussion, there will be a short introduction/presentation of the paper. Before and after a section of the papers, we will have a review and a preview of the papers.</p>
--	--

Course Code	5123506	Term	A 1	Credits	2
Course Title	Discrete Choice Models				
Faculties	SON Suk Joon				
Course Objectives/Overview	<p>This course is focused on learning the properties of discrete choice models, how to estimate them, and their applications. Topics include multinomial logit, nested logit, mixed logit (random coefficient logit), and dynamic discrete choice models. It includes discussions about some standard models in empirical industrial organization and labor economics, such as models in McFadden (1974), Rust (1987), and Keane and Wolpin (1997). Assignments include programming exercises as well as analytical ones.</p>				